

# KENWOOD



ナビゲーションシステム

## GZ-600

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
本機は日本国内の専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

#### お願い

本機にはご愛用者への情報提供をすみやかに行うため、「ご愛用者登録カード」が同梱されています。  
必要事項をご記入の上、使用開始後30日以内に弊社までお送りください。



## 安全上のご注意 この取扱説明書の読みかた



### すぐに使う

<b>基本的な使いかた</b>	<b>6</b>
各部の名称	6
地図ディスクの使いかた	7
リモコンの基本的な使いかた	8
画面に表示されるもの	10
タッチパネルモニター以外の場合は	10
タッチパネルモニターの場合は	11
地図をスクロールする	12
2画面/1画面を切り換える	13
JET-Scope/通常表示(平面表示)を切り換える	14
横画面/たて画面を切り換える	15
<b>操作がわからなくなったら</b>	<b>16</b>
ヘルプ画面を表示する	16
メニューの基本的な使いかた	17
メニューを表示する(リモコン)	17
メニューを使う(リモコン)	18
メニューを表示する(タッチパネル)	19
メニューを使う(タッチパネル)	20
<b>システムの状態を見る</b>	<b>21</b>
接続状態を確認する	21
GPS衛星からの電波の受信状態を確認する	22
<b>ルートを探索してガイドを始める</b>	<b>23</b>
目的地を設定する	23
探索条件を設定する	24
ルートを探索する	25
ルートガイドを開始する	26



### 使いこなす

<b>機能設定</b>	<b>28</b>
地図の表示設定	28
地図の表示方法を設定する	29
軌跡を消去する	29
表示するランドマークの設定	30
表示するランドマークを設定する	30
システム設定	31
システムを設定する	32
音量を設定する	32
現在地を手動で設定する	33
デモモードを設定する	33
<b>地点検索</b>	<b>34</b>
電話番号検索	34
電話番号で探す	34
施設検索	36
施設の種類の検索	36
施設の住所で探す	37
施設などの名前で探す	38
最寄検索	39
最寄りの施設を探す	39
登録地点検索	40
登録地点を探す	40
経緯度検索	41
経緯度で探す	41
マップコード検索	42
マップコードで探す	42
<b>地点登録</b>	<b>43</b>
地点の登録	43
地点を登録する	43
登録地点の編集	44
登録地点のリストを見る	44
登録地点の地図を見る	44
登録地点のマークを変更する	45
登録地点に名前をつける	45
登録地点に電話番号を設定する	46
登録地点を地図上に表示する	46
登録地点を消去する	47

<b>コース設定</b>	48
コースの設定	48
目的地または立寄地を登録メニューで設定する	48
現在のコースの編集	49
現在のコースを見る	49
目的地や立寄地の地図を見る	49
現在のコースの立寄地の順番を変える	50
目的地や立寄地を消去する	50
<b>ルート探索</b>	51
ルートの探索	51
現在のコースでルートを探査する	51
新しいコースを作ってルートを探査する	52
探索条件	55
探索条件を設定する	55
ルートの再探索	57
ルートを再探索する	57
<b>ルートガイド</b>	58
ルートの情報	58
ルートの全体を地図で見る	58
ドライブをシミュレートする	58
ルートガイド	59
ルート上(ガイドポイント間)を走行しているときは	59
ガイドポイントに近づくと	60
ルートからはずれると	61
ハイウェイ情報の表示	62
ハイウェイ情報を見る	62
ガイド方法の設定	63
ガイド方法を設定する	63
<b>文字の入力</b>	64
文字を入力する	64
<b>MC-1000 追加機能</b>	66
登録メニュースイッチの追加	66
情報から地点を登録する	66
電子メールの地点を登録する	67
読上げ機能を設定する	68
自動読上げを設定する	68
手動読上げを設定する	68
<b>別売品の地区詳細版地図ディスクについて</b>	70

## オプションを使う

<b>VICS</b>	71
VICSの表示設定	71
VICS情報の表示方法を設定する	72
VICS情報のリアルタイム表示	73
レベル3情報を受信すると	73
ビーコンからレベル2、レベル1情報を受信すると	75
緊急情報または注意警戒情報を受信すると	75
VICSモニターの設定	76
VICSモニター地点を登録する	76
VICSモニター地点のリストを見る	77
VICSモニター地点の地図を見る	77
VICSモニター地点に名前をつける	78
地図上に表示するVICSモニター地点を設定する	78
VICSモニター地点を消去する	79
VICS情報や文字多重放送の表示	80
VICS情報や文字多重放送を見る	80
選局する	81
自動追尾で選局する	81
手動でプリセットボタンに放送局を登録する	82
自動的にプリセットボタンに登録する	82
番組を設定する	83
番組をプリセットボタンに登録する	84
VICSとは	85

## こんなときには

思ったとおりに動作しないとき	87
----------------	----

## 付 録

こんなことに気をつけて	90
故障かな?と思ったら	91
付属リモコンによるテレビやオーディオの操作	92
付属地図ディスクの地図記号の凡例	93
保証とアフターサービス	94
仕様一覧	95

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への然に損害を未防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。



**警告**



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



注意

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。また、以下のような行為をすることは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・ テレビやビデオを見る
- ・ 地点登録、各設定、文字入力などの操作



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



**警告**



注意

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、道路状態や交通規則などと一致しない場合があります。実際の交通規則を守って走行してください。



実施

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

修理は必ず＜お買い上げの販売店＞、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。



**注意**



禁止

本製品を、車載用としての用途以外では使用しないでください。



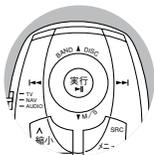
禁止

指定の電池以外や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りに入れてください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。

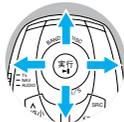
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## ●この取扱説明書の読みかた

### 2ウェイオペレーション 次の2つのうちのどちらかの方法で操作できます。



#### 付属のジョイスティックリモコンでの操作

ジョイスティックリモコンのジョイスティックを動かす（傾ける）方向は、のように表します。

また、ジョイスティックリモコンのボタンを押すときは、のように表します。

メニューなど、ジョイスティックで項目を選んで実行するときは、のように表します。操作をまとめて

地図



#### タッチパネルでの操作（タッチパネルコントロール）

※ タッチパネルモニター LZ-M700、LZ-770W、LZ-700W、LCD-M66、LCD-M60、VZ907またはデュアルサイズマルチAVレシーバーDPV990、DPV900を組み合わせているときに使用できます。



地図スクロール以外の操作では、タッチして指を離れたときに動作します。

### 次のように操作手順を説明します。

機能設定 — システム設定

#### 現在地を手動で設定する



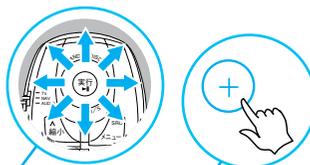
設定メニューで **機能設定** - **システム設定** を選択して、システム設定画面を表示させます。

**1** **現在地補正** を選択します。 **手順の番号と操作**

**2** 現在地を選択します。  
地図を上下左右にスクロールして、自車マークを現在地に合わせます。

**3** **OK** を選択します。

1の操作後の画面。  
この画面から  
2の操作をします。



ジョイスティックでの操作    タッチパネルでの操作

 安全上の警告を意味する内容が書いてあります。

 **注意** 操作上で特に気をつけていただきたいことが書いてあります。

 **メモ** 補足説明、使いかたのヒント、参照していただきたいことが書いてあります。

 記載されているメニューを表示してから、説明されている操作を始めてください。

 記載されているメニューの項目を選択してから、当該画面を表示してから、説明されている操作を始めてください。

#### 画面表示について

この取扱説明書の画面は操作説明用に作成したものです。実際の画面とは異なる場合があります。

説明は付属の地図ディスクを使用したときのものです。他の地図ディスクでは機能やガイド表示等は異なります。

#### モニター画面サイズについて

ノーマル画面のモニターに接続している場合は、31ページの「システム設定」でモニター画面を「ノーマル」に設定してください。

#### 使用できる地図ディスクについて

付属の地図ディスク、別売品の地区詳細版地図ディスク"KNA-VD6110～6170"、およびナビ研S規格準拠地図ディスクが使用できます。

# 基本的な使いかた

## 各部の名称

### GZ-600本体

ナビゲーションシステムの中核となる部分です。

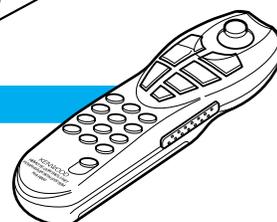


### ジョイスティックリモコン

基本的な使いかたは8ページをご覧ください。



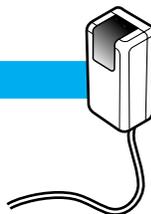
ジョイスティックリモコンは、ブレーキやハンドルの操作などによって動かない場所に置いてください。ペダルの下などに落ちると、運転  
注意 操作に支障をきたして危険です。



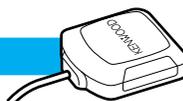
### リモコン受光部 (GZ-600のみ)



タッチパネルモニターと接続する場合にはリモコン受光部は不要です(タッチパネルモニターにはリモコン受光部が内蔵されています)。それら以外のモニターなどを使用する場合に使用します。



### GPSアンテナ



### 地図ディスク (3枚)



## 地図ディスクの入れかた

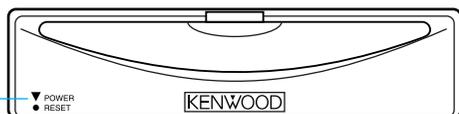
### 1 ドアのツマミを押し下げてドアを開けます。

**注意** ドアを開けると、ディスクがセットされていなくても、パワーインジケータが点滅して数秒間イジェクト機構が動作します。パワーインジケータが点灯に変わってからディスクを挿入してください。



### 2 パワーインジケータが点滅から点灯に変わってから地図ディスクを挿入します。地図ディスクはレーベル面（文字が書いてある面）を上にして挿入します。

ディスクが自動的に内部に引き込まれセットされます。



パワーインジケータ



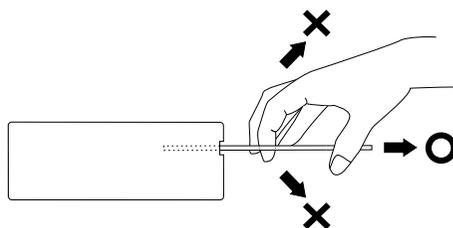
### 3 ドアのツマミを引き上げてドアを閉めます。

**注意** ナビゲーション内部にホコリなどが入ると、レーザーピックアップなどが汚れて故障の原因となります。このため、ドアを閉めていないとナビゲーションシステムは動作しないようになっています。ドアは閉めて使用してください。



### **注意** ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは、手前にまっすぐ引き出してください。斜めに強く押しつけながら引き出すと、ディスクに傷を付ける原因となります。



## リモコンの基本的な使いかた

すぐに使う

## ● 操作モード切替スイッチ

操作対象を選択します。

## ● 縮小、拡大

地図を縮小(広域)または拡大(詳細)します。

## ● ルート

走行中はルートを探します。停止中はルートメニューを表示します (23ページ)。

## ● テンキー

数字を入力します。

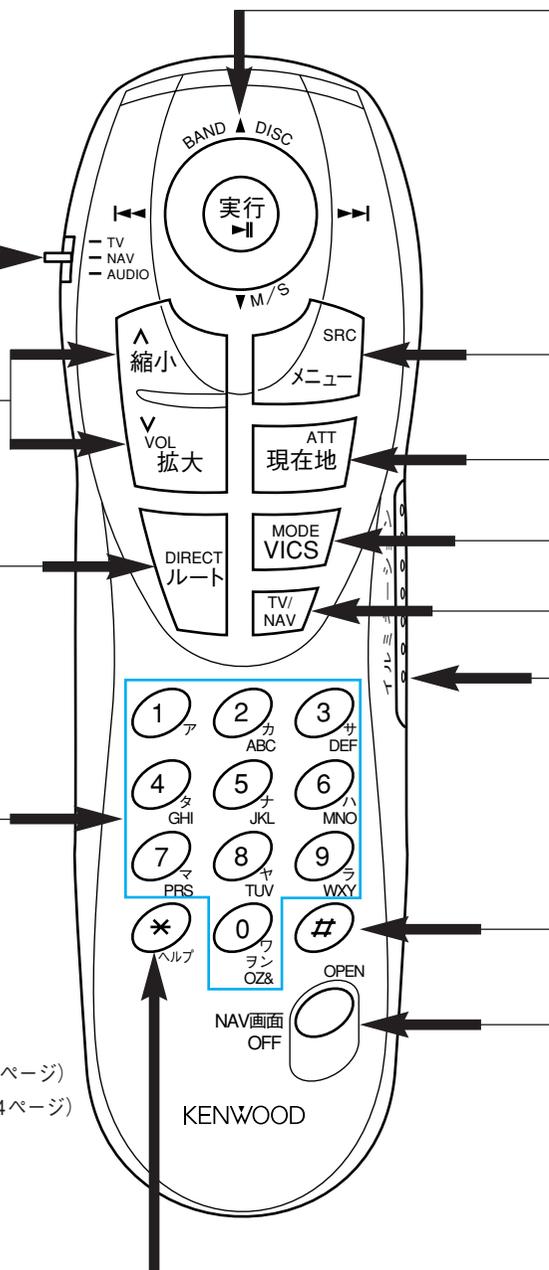
また、文字を入力する画面では、キーを押す回数によって異なる文字を入力できます。

地図の画面では次のキーを使えます。

- ① : 1画面/2画面表示切り替え (13ページ)
- ② : ハイウェイ情報の表示オン/オフ (62ページ)
- ③ : 次ガイドポイントの音声案内 (59ページ)
- ④ : スクロール表示時…スクロール時の地図回転モードの一時解除 (12ページ)  
現在地表示時…JET-Scope表示/通常表示(平面表示)切り替え (14ページ)

## ● \*キー

現在の画面で行える操作の説明(ヘルプ)を表示します (16ページ)。



- ジョイスティックリモコンは、ブレーキやハンドルの操作などによって移動しない場所に置いてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- リモコン受光部に直射日光などがあたると、正しく動作しないことがあります。
- 操作モード切り替えスイッチをTVまたはAUDIOに切り替えると、リモコンを使用してナビゲーションシステムの操作はできなくなります。

## ● ジョイスティック

地図の画面では、8方向に動かして地図をスクロールします。押すと、登録メニューを表示します。  
メニューなどの画面では、上下左右に動かして項目を選びます。押すと、その項目を実行します。

### ● メニュー

メニューを表示します(17ページ)。

### ● 現在地

現在地の地図の画面に戻ります。

### ● VICS

VICS情報を表示します(80ページ)。  
(VICS機器接続時)

### ● TV/NAV

TV画面とナビゲーションシステムの画面とに切り替えます。

### ● イルミネーション

縮小、拡大、メニュー、現在地、ルート、VICS、TV/NAVボタンのイルミネーションが数秒間点灯します。

### ● #キー

電話番号検索画面に切り替えます(34ページ)。

### ● NAV画面OFF

ナビゲーション画面の表示をオン/オフします。  
画面表示がオフのときに、車のACCをオン/オフ、または車のライトスイッチをオン/オフすると自動的に画面表示がオンになります。



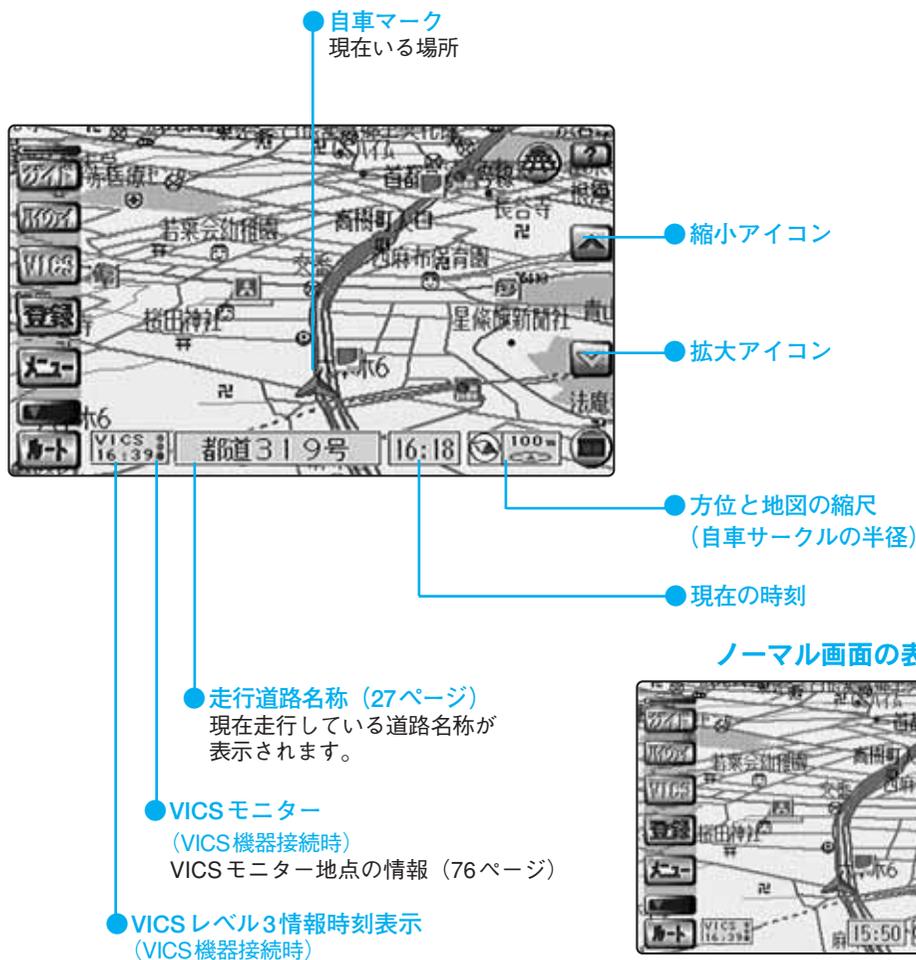
- タッチパネルモニターが接続されている場合には、リモコンはモニターに向けて操作してください。タッチパネルモニターが接続されていない場合は、リモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンでテレビやカーオーディオを操作するときは92ページをご覧ください。

## 画面に表示されるもの

イグニッションキーをオンにすると、本機では次の画面が表示されます。

タッチパネルモニター以外の場合は

すぐに使う



**注意** 走行中は細街路(幅員5.5m未満の生活道路など)は表示されません。

メモ

- 初めて電源を入れたときや車両のバッテリー交換をしたときには、付属地図ディスクからナビゲーションシステムのプログラムを読み込むため、上記の画面が表示されるまでに3分程度かかります。
- ノーマル画面のモニターに接続している場合は、31ページの「システム設定」でモニター画面を「ノーマル」に設定してください。
- 拡大(縮小)アイコンの矢印がグレーの場合には、これ以上は拡大(縮小)できません。ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は、矢印はグレーになりません。
- 地図上の文字は、地図の向きなどにより、重なって表示される場合があります。
- ガイド中の画面については59ページをご覧ください。

タッチパネルモニターの場合は

タッチパネルモニターが接続されているときには、前ページの画面に加えて、タッチ用のボタンが表示されます。

●メニューバー表示ボタン (19ページ)  
メニューバーを表示します。

●メニューバー (19ページ)  
タッチすると各メニューを表示します。

●JET-Scopeボタン(14ページ)  
タッチするごとにJET-Scope⇄通常表示(平面表示)に切り替わります。

●ヘルプボタン  
タッチすると操作の説明が表示されます。

●縮小ボタン  
タッチすると1段階広域の地図が表示されます。

●拡大ボタン  
タッチすると1段階詳細な地図が表示されます。

●2画面表示ボタン (13ページ)  
タッチするごとに2画面⇄1画面表示に切り替わります。

●方位と地図の縮尺 (自転車サークルの半径)

●現在の時刻

●走行道路名称 (27ページ)  
現在走行している道路名称が表示されます。

●VICSモニター (VICS機器接続時)  
VICSモニター地点の情報 (76ページ)

●VICSレベル3情報時刻表示 (VICS機器接続時)

●ルートボタン  
タッチするとルートメニューを表示します。

ノーマル画面の表示

すばくに使う

**注意** 走行中は細街路(幅員5.5m未満の生活道路など)は表示されません。

メモ

- 初めて電源を入れたときや車両のバッテリー交換をしたときには、付属地図ディスクからナビゲーションシステムのプログラムを読み込むため、上記の画面が表示されるまでに3分程度かかります。
- ノーマル画面のモニターに接続している場合は、31ページの「システム設定」でモニター画面を「ノーマル」に設定してください。
- 地図スクロール以外の操作では、タッチして指を離れたときに動作します。
- 拡大(縮小)アイコンの矢印がグレーの場合には、これ以上は拡大(縮小)できません。ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は、矢印はグレーになりません。
- ガイド中の画面については59ページをご覧ください。

## 地図をスクロールする

リモコンのジョイスティックを動かすか、自車サークルの周囲にタッチすると、地図がスクロールされます。

地図上で探して目的地などを設定する場合には、この方法で地図をスクロールします。

すぐに使う



● 現在地ボタン (タッチのみ)  
(リモコンの現在地ボタンに対応)

● カーソルから  
現在地までの距離

● カーソル



● 現在地の方向

● 地図北固定ボタン

地図回転モードを一時的に解除します (リモコンの ④ に対応)。  
一度タッチすると地図の北を画面の上に固定します。  
もう一度タッチしたとき、または現在の画面に戻ると地図回転モードに戻ります。

● 自車サークル

GPS衛星による測位がされているときは赤色で表示され、測位ができないときは青色で表示されます。

● 地図回転モード表示

地図回転モードの設定によって表示が替わります。

📍 : 地図回転

📍 : 北固定



現在の地図に戻るときは、リモコンの  を押すか、画面の現在地ボタン  にタッチしてください。

## 2画面／1画面を切り換える

リモコンの①を押すか、画面右下の2画面表示ボタンにタッチすると、画面上に2つの地図を表示できます。



2画面表示ボタン



1画面表示ボタン

2画面表示しているとき、右の画面を1画面表示時と同様に操作できます。左の画面は常に現在地を表示します。

### ノーマル画面の表示



- 1画面表示に戻すときは、リモコンの①を押すか、画面右下の1画面表示ボタンにタッチしてください。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は2画面表示にできません。

## JET-Scope / 通常表示 (平面表示) を切り替える

現在地表示中にリモコンの④を押すごとに、または画面右上のJET-Scopeボタンにタッチするごとに、JET-Scope表示と通常表示 (平面表示) とが切り替わります。メニューで機能設定→地図表示設定を選択して地図表示設定画面から設定することもできます。

### ● 自車サークル

GPS衛星による測位がされているときは赤色で表示され、測位ができないときは青色で表示されます。

### ● JET-Scope ボタン



### ● 自車マーク (通常表示時)

タッチすると自車マークが地図の中央になります (フロントワイド解除)。再度タッチすると、フロントワイドに戻ります。

### ● JET-Scope ボタン



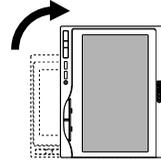
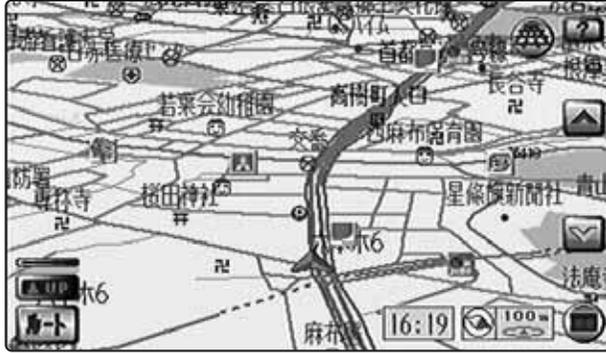
### ● 自車マーク (JET-Scope表示時)



- JET-Scope表示時の視点位置の設定は、高・中・低の3通りに切り替えられます。詳しくは28ページをご覧ください。
- JET-Scope表示時に地図をスクロールすると通常表示 (平面表示) に戻ります。リモコンの④を押すか、画面の現在地ボタン(📍)にタッチして現在地表示にすると、JET-Scopeに戻ります。
- 1画面でJET-Scopeを表示しているときに2画面表示にすると、右は通常表示 (平面表示)、左はJET-Scope表示になります。
- ハイウェイ情報の表示中に、左の画面をJET-Scope表示と通常表示 (平面表示) とに切り替えることはできません。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は、JET-Scope表示にはできません。

## 横画面/たて画面を切り替える

LZ-M700を接続時にモニター部を縦にすると、ナビゲーション画面も連動して縦型で表示させることができます。



すべて使う

たて画面表示中も横画面表示中と同様な情報が表示されます。たて画面表示中は以下の表示・操作が可能です。

- **地図の操作**  
スクロール  
拡大・縮小
- **ルートメニューの表示・設定 (58ページ)**
- **ハイウェイ情報の表示 (62ページ)**
- **VICSレベル3情報の表示 (73ページ)**
- **JET-Scope表示 (14ページ)**
- **交差点拡大図 (60ページ)**
- **JET-Guide表示 (60ページ)**

以上の機能は、たて画面表示中も横画面表示中と同様な方法で操作ができます。本書の横画面表示中の説明を参照して操作を行ってください。

また、次の機能はたて画面表示中、一時的に以下のように設定されます。

- **地図表示設定 (28ページ)**  
地図回転：「する」に設定  
フロントワイド表示：「する」に設定



- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は、たて画面表示にすることはできません。
- 画面をたて画面または横画面に切り替えた直後は、自車位置が正しい位置に表示されない場合があります。
- たて画面表示中に目的地を登録すると、立寄地は自動的に消去されます。目的地を登録してから立寄地を登録してください。

# 操作がわからなくなったら

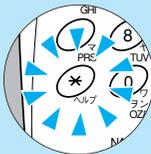
本機にはヘルプが用意されています。操作がわからなくなったときや、画面のボタンのはたらきがわからないときなどに利用してください。

## ヘルプ画面を表示する

# 1

ヘルプを表示します。  
リモコンの  を押すか、 にタッチします。  
現在の画面の説明が表示されます。

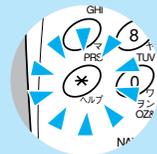
説明は、ジョイスティックの上下、  
または  や  にタッチするとスクロールできます。



すぐに使う

# 2

ヘルプを閉じます。  
リモコンの  を押すか、 にタッチします。  
ヘルプが消えます。



# メニューの基本的な使いかた

本機には次の4種類のメニューがあります。  
本機の多くの機能は、メニューを選択することで使用できます。

メニュー	主なはたらき	メニューの表示	
		リモコン	タッチ
メニュー	各種の施設の検索や、ナビゲーションシステムの設定などを行います。メニューには、地点検索、情報表示、編集、機能設定の各メニューがあります。		
登録メニュー	ナビゲーションシステムに行きたい場所（目的地）や通りたい場所（立寄地）、その他の覚えておきたい場所などを記憶させます。		
ルートメニュー	ルート探索に必要なすべての操作を行います。		
VICSメニュー	VICS情報を示します。また、必要な設定を行います。		

すべて使えます

**メモ**

- どのメニューも使いかたは同じです。ここでは、メニューを例に説明します。
- 走行中にはVICSメニュー以外のメニューは表示できません。メニューの表示中に走り出すとメニューは表示し続けますが操作できません。停車すると再び操作できるようになります。
- 各メニュー画面のグレー文字の項目は選択できません。

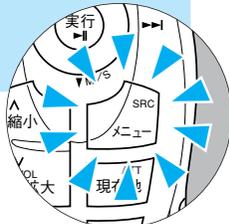
## メニューを表示する (リモコン)

1

 を押します。



メニューが表示されます。



**メモ**

- ルートメニューを表示するときは停車中に 、VICSメニューを表示するときは  を押します。
- メニューを消すときは、リモコンの  を、ルートメニューは  を、VICSメニューは  をそれぞれ押してください。  
また、いずれのメニューでも  を選択すると直前の画面に戻ります。
- ノーマル画面では、メニュー画面表示中は地図の拡大／縮小の操作はできません。
- 通信** は別売品コミュニケーションユニット MC-1000 を接続時に操作できます。操作のしかたは MC-1000 付属の取扱説明書および本書 66 ページをご覧ください。(ナビ研 S 規格準拠の地図ディスク使用時はご使用になれません。)

## メニューを使う (リモコン)



メニューを表示します。

1

ジョイスティックを上下左右に動かして、使用する項目をハイライト表示させます。

例では「情報表示」をハイライト表示しています。



2

実行を押します。

ハイライト表示した項目のメニューが表示されます。



3

ジョイスティックを上下に動かして、使用する項目をハイライト表示させます。

例では「システム情報」をハイライト表示しています。



4

実行を押します。

ハイライト表示した項目の画面が表示されます。



メモ

操作 1-2 や 3-4 のように、「使用する項目をハイライト表示して [実行] を押す」という操作を、この取扱説明書では「選択する」と表記します。たとえば、操作 1-2 は「[情報表示] を選択する」と表記します。



メモ

- 各メニューで、[戻る] を選択すると直前の画面に戻ります。なお、リモコンでは、[戻る] はジョイスティックを右に動かして [実行] を押すと選択できます。また、リモコンの [戻る] を押すと、メニューを表示する直前の地図の画面に戻ります。
- メニューの [戻る] の矢印がグレーの場合は、これ以上選択項目はありません。

メニューを表示する (タッチパネル)

1

メニューバー表示ボタンにタッチします。  
メニューバーが表示されます。



2

表示するメニューにタッチします。

- メニュー : メニュー
- 登録 : 登録メニュー
- VICS : VICSメニュー

例では メニュー にタッチしています。



メモ

- 地図スクロール、地図の拡大・縮小以外の操作では、タッチして指を離れたときに動作します。
- メニューを消すときは、画面の地図の右下の地図ボタン (📍) にタッチしてください。
- ノーマル画面では、メニュー画面表示中は地図の拡大/縮小の操作はできません。
- 通信 は別売品コミュニケーションユニットMC-1000を接続時に操作できます。操作のしかたはMC-1000付属の取扱説明書および本書66ページをご覧ください。(ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時はご使用になれません。)

すべて使っ

メニューを使う (タッチパネル)



メニューを表示します。

1

使用する項目にタッチします。  
 タッチした項目のメニューが表示されます。  
 例では「情報表示」にタッチしています。

すぐに使う



2

使用する項目にタッチします。  
 タッチした項目の画面が表示されます。  
 例では「システム情報」にタッチしています。



操作 1 や 2 のように、「使用する項目にタッチする」という操作を、この取扱説明書では、「選択する」と表記します。たとえば、操作 1 は「情報表示」を選択する」と表記します。



システム情報



- 各メニューで、「戻る」を選択すると直前の画面に戻ります。また、地図ボタンを選択すると、メニューを表示する直前の地図の画面に戻ります。
- メニューの▲▼の矢印がグレーの場合は、これ以上選択項目はありません。

# システムの状態を見る

ナビゲーションシステムのケーブルやオプションの接続状態を確認めます。  
GPS衛星からの電波の受信状態を見ることもできます。

## 接続状態を確認する

**1** メニューを表示します。



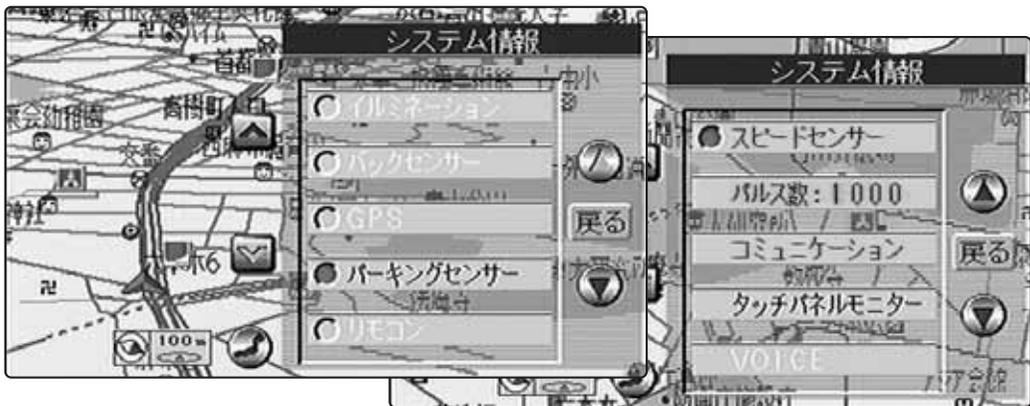
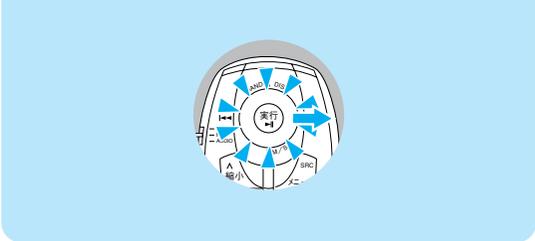
**2** **情報表示** を選択します。



**3** **システム情報** を選択します。



**4** **戻る** を選択します。  
情報表示メニューに戻ります。



### メモ

- GPSはGPS信号が受信されると、文字が黒色になり、左の●が赤色に点灯します。
- オプション名は正しく接続されていると、文字が黒色で表示されます。
- イルミネーション、バックセンサー、パーキングセンサー、リモコンは、操作したときに正常に動作していると文字が黒色になり、左の●が赤色に点灯します。(リモコンはテンキーで確認してください。)
- スピードセンサーは走行して、車速信号が正しく検出されると文字が黒色になり、左の●が赤色に点灯してパルスがカウントされます。

すべてに使う

## GPS衛星からの電波の受信状態を確認する

**1** メニューを表示します。



**2** **情報表示**を選択します。



**3** **GPS情報**を選択します。



**4** **戻る**を選択します。  
情報表示メニューに戻ります。



- 現在の測位状態
- 現在のスピード
- 現在地の高度
- 現在地の経度 (東経)
- 現在の緯度 (北緯)



- 測位の精度により、時速や高度は実際とは異なる場合があります。
- 高度は200mステップで表示します。

# ルートを探索してガイドを始める

ナビゲーションシステムの中心的な機能であるルート探索機能を使ってみましょう。ルート探索の操作の流れは簡単です。どこに行きたいか(目的地)を設定してルート探索を指示するだけです。ここではさらに、探索条件も指定します。つまり、次の流れで操作します。

## 目的地の設定

## 探索条件の設定

## ルート探索の開始



●本機に挿入されている地図ディスクのエリア外へのルート探索はできません。収録エリアは以下の通りです。

Vol.1 : 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、栃木県、群馬県、茨城県、東京都、埼玉県、千葉県

Vol.2 : 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、栃木県、茨城県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

Vol.3 : 福井県、滋賀県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



- 目的地はここでの説明と同じにする必要はありません。お近くの適当な場所を設定してください。
- ここでの説明はリモコンでの操作です。タッチパネルモニターを接続している方は、説明中に示されているボタンにタッチしてください。
- ここでは必要最小限の基本的な操作を説明しています。詳しくは、51ページ以降で説明されています。

## 目的地を設定する

まず、目的地を登録します。  
ルート探索に関連する機能はルートメニューから操作を始めます。

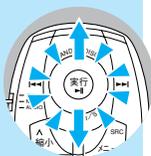
# 1

ルートメニューを表示します。  
リモコンの **DIRECT** を押すか、**ルート** に  
タッチします。  
ルートメニューが表示されます。



2

**地図画面で検索**を選択します。  
ジョイスティックを上下に動かして  
**地図画面で検索**をハイライト表示  
させ **実行** を押します。  
目的地設定画面が表示されます。



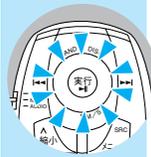
3

地図をスクロールして、カーソル **+** を目的地に合わせます。  
ジョイスティックを上下左右に動かして地図をスクロールし、カーソル **+** を目的地に合わせます。



4

**登録**を選択します。  
**実行** を押します。  
カーソル **+** の位置が目的地として  
登録され、ルート探索画面が表示  
されます。



メモ

- 目的地は、この例のように地図をスクロールして探すだけでなく、電話番号や住所、施設の種類、名前などから検索することもできます。詳しくは34ページをご覧ください。
- 目的地の設定は、ルートメニューからだけでなく、地図が表示されているときに **実行** を押すと表示される登録メニューで設定することもできます。詳しくは43ページをご覧ください。
- 途中で寄りたい場所(立寄り地)を設定することもできます。詳しくは48ページをご覧ください。

探索条件を設定する

目的地を設定したら、次に探索条件を設定します。

1

**探索条件**を選択します。  
ジョイスティックを上下に動かして**探索条件**を選択します。  
探索条件画面が表示されます。



2

距離優先を「する」に選択します。  
ジョイスティックを上下に動かして**距離優先探索**をハイライト表示させます。  
選択するごとに「する」、「しない」が切り替わります。



3

**OK**を選択します。  
ルート探索画面が表示されます。



すべてに使う



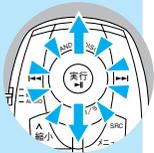
- 探索するルートは「時間優先」、「距離優先」、「まわり道」の3種類から選択できます。また、「有料道路」を「する」または「しない」から選択できます。3つのルートの違いや有料道路の使用については55ページをご覧ください。
- 探索ルート条件を何も設定しないと「時間優先」のルートだけが探索されます。ここでは、「距離優先」を「する」に設定して所要時間の短いルートと走行距離の短いルートを探索してみます。

## ルートを探る

目的地と探索条件を設定したら、ルート探索を開始します。

1

**ルート探索** を選択します。  
ルート探索が開始され、ルート探索中画面が表示されます。



ルート探索が終了すると、探索された時間優先ルートが表示されます。

2

**ルート** を選択します。  
距離優先ルートの探索が開始され、ルート探索中画面が表示されます。



3

**ルート** を選択します。  
以降 **ルート** を選択することにより時間優先ルートと距離優先ルートが交互に表示されます。



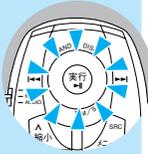
- ルート探索は、現在地から目的地に行く道筋を探し出します。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は時間優先/距離優先/まわり道探索の設定はできません。1ルートのみ探索になります。

ルートガイドを開始する

1

**ガイド**を選択します。

探索結果画面からルートガイド画面に切り替わり、ガイドを開始します。



すべて使う

目的地の  
到着予想時刻

ガイドルート

目的地まで距離

ガイドポイントの名称 (交差点名など)

ガイドポイントまでの距離

ガイドポイントでの  
進行方向



現在走行中の道路名称



「ガイド」を選択してもルートガイドが開始されない場合は、車速信号検出が正しく接続されていないことが考えられます。正しく接続されているか確認してください。



- 道路名称は都道、道道、府道、県道まで表示可能ですが、番号が表示されないことがあります。
- 到着時刻は交通事情によって実際と大きく異なることがあります。
- 目的地までの距離は実際と異なる場合があります。

## 地図の表示設定

地図の次の表示方法を設定(オン/オフ)できます。

## ●地図回転

- する：車の進行方向が上になるように自動的に地図を回転して表示します。
- しない：車の進行方向にかかわらず、地図の北の方向を画面の上側にして表示します。

## ●フロントワイド表示

- する：自車マーク(現在地)の位置を下げて、車の進行方向の地図を広く表示します。
- しない：自車マークを画面の中央に表示します。

## ●JET-Scope

- する：JET-Scope表示になります。
- しない：通常の地図表示(平面表示)になります。

## ●JET-Scope視点位置

- 高：JET-Scope表示の視点が高位置になります。
- 中：JET-Scope表示の視点が中位置になります。
- 低：JET-Scope表示の視点が低位置になります。

## ●地図色

- カラー：地図をカラーで表示します。
- 白黒：地図のみを白黒で表示します。

## ●昼夜切換え

- 自動：昼画面と夜画面を車両ライトの消灯/点灯に連動させて切り換えます。
- 昼固定：常に昼画面を表示します。

## ●JET Guide表示

- する：JET Guideを表示します。
- しない：JET Guideを表示しません。

## ●軌跡表示

- する：軌跡(現在地から過去50kmの走行した道筋)を表示します。
- しない：軌跡を表示しません。

## ●道路名称表示

- する：走行中の道路名を画面の下部に表示します。
- しない：走行中の道路名を表示しません。

## ●軌跡消去

- 記憶されている軌跡を消去できます。



- 地図回転が「する」に設定されていると、現在地が表示されていたときの回転状態のままでスクロールされます。
- 地図のスクロール中にリモコンの④を押してからスクロールすると、一時的に地図は北の方向を画面の上側にして表示されます。もう一度④を押すか、現在地の画面に戻ると、地図の回転は元の状態に戻ります。
- 地図色を「白黒」に設定しても、ガイドルート、自車マーク、ランドマークなどはカラーで表示されます。(ナビ研S規格準拠の地図ディスクは機能しません。)
- 地図のスケールが20km以上の場合には、地図回転とフロントワイド表示は一時的に解除されます。(JET-Scope表示中を除く。)
- 昼夜切換えで昼固定に設定すると地図色は自動的にカラーになります。
- JET-Scopeの表示設定は、リモコンの④(現在地表示時)またはタッチパネルモニターのJET-Scopeボタンでも切り替えることができます。
- JET Guide表示は付属の地図ディスク使用時のみ表示できます。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は昼夜切換え、JET-Scope、およびJET-Scope視点位置機能は使用できません。

## 地図の表示方法を設定する

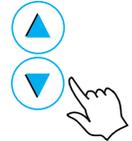
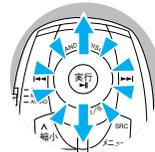


メニューを表示させます。

- 1 **機能設定** を選択します。
- 2 **地図表示設定** を選択します。



- 3 各項目を選択します。  
同じ項目を選択するごとに「する」と「しない」が交互に切り替わります。  
ジョイスティックを上下に動かすか、▲または▼にタッチすると、設定する項目をスクロールできます。



- 4 **OK** を選択します。  
機能設定メニューに戻ります。

機能設定 — 地図表示設定

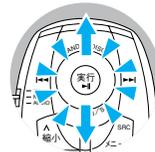
## 軌跡を消去する



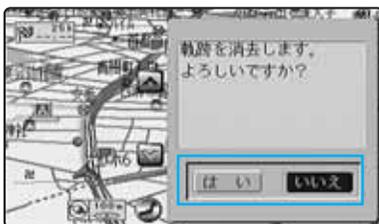
メニューで **機能設定** - **地図表示設定** を選択して、地図表示設定画面を表示させます。



- 1 **軌跡消去** を選択します。  
軌跡が消去されます。



軌跡消去



- 2 消去を確認します。  
消去するときには **はい**、消去しないときには **いいえ** を選択します。



はい いいえ



## 表示するランドマークの設定

地図上に表示するランドマーク(目印になる施設など)を設定できます。表示をオン/オフできるランドマークは次のとおりです。

- ガソリンスタンド
- ファーストフード
- コンビニエンスストア
- ファミリーレストラン
- スーパーマーケット
- デパート
- 銀行
- ホテル
- 駐車場
- ケンウッドSC

メモ

- 上記表示のランドマーク種は付属地図ディスク使用時です。その他の地図ディスクでは選択できるランドマーク種が異なります。
- 選択できるランドマークの組み合わせは5種類までです。
- ここでの設定にかかわらず、400mより縮小したスケールではランドマークは表示されません。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスクを使用時はレイヤー設定画面になり、同様にランドマークなどの表示設定が行えます。

使いこなす

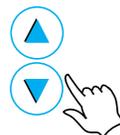
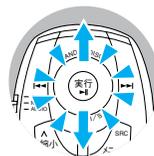
### 表示するランドマークを設定する



メニューを表示させます。



- 1 **機能設定** を選択します。
- 2 **ランドマーク設定** を選択します。
- 3 ランドマークの表示/非表示を選択します。  
同じ項目を選択するごとに表示●/非表示○が交互に切り替わります。  
ジョイスティックを上下に動かすか、▲または▼にタッチすると、設定するランドマークをスクロールできます。
- 4 **OK** を選択します。  
機能設定メニューに戻ります。



## システム設定

システムを設定(オン/オフ)できます。

### ●拡大図割り込み

- する：ガイドポイントが近づいたときに、表示されている画面にかかわらず、一時的にナビゲーションシステムの画面に切り替えます。
- しない：ガイドポイントが近づいても画面は切り替わりません。

### ●オーディオATT

- する：ボイスガイド時にATTケーブルを接続したオーディオの音量を小さくします。
- しない：オーディオの音量は変わりません。

### ●モニター画面

- ワイド：画面表示をワイド画面に設定します。
- ノーマル：画面表示をノーマル画面に設定します。

### ●音質設定 (ボイスコントロールユニットVR-1000接続時)

- 応答アナウンスのタイプを設定します。
- 女性：女性の合成音声アナウンスになります。
- 男性：男性の合成音声アナウンスになります。
- ロボット：声の抑揚を0にしたロボットのような合成音声アナウンスになります。

### ●タクシーモード (ボイスコントロールユニットVR-1000接続時)

- タクシーモードを通常に使用するかを設定します。
- ON：常にタクシーモードをオンします。
- OFF：「タクシー」と言ったときに、一時的にタクシーモードがオンします。

### ●音量設定

- ボイスガイドなどの音声の音量を6段階に設定します。

### ●現在地補正

- 現在地と進行方向を手動で設定できます。

### ●パルスリセット

- ナビゲーションシステムの車速パルスデータを初期化します。

### ●システム切換

- ナビ研S規格準拠地図ディスクを使用するときに選択します。
- 選択すると、オリジナル地図ディスクからナビ研S規格プログラムが読み込まれます。
- プログラムの変更が終わるとメッセージが表示されます。この後にナビ研S規格準拠地図ディスクを挿入してください。
- 再び、オリジナル地図ディスクを挿入すると、オリジナルプログラムに自動的に切り替わります。



### ナビ研S規格準拠の地図ディスクご使用時の注意

- ナビ研S規格準拠の地図ディスクを使用している場合は以下の機能をご使用になれません。
  - たて画面表示 (15ページ)
  - 3ルート探索機能 (55ページ)
  - 2画面表示 (13ページ)
  - JET-Scope表示 / 通常表示 (平面表示) を切り替える (14ページ)
  - 地図色 (カラー/白黒) 切り替え / 昼夜切換え / JET-Scope / JET-Scope視点位置切換え (28ページ)
  - ハイウェイ情報表示 (62ページ)
  - 名称で検索 / 住所施設名で検索 / 電話番号で検索 / 最寄施設名で検索機能 (34～39ページ)
  - ARGS / VICS考慮探索機能 (69ページ)、VICSモニター機能 (74～77ページ)、FM多重局自動追尾機能 (81ページ)
  - 通信機能
  - ボイスコントロール機能
- 使用するナビ研S規格準拠の地図ディスクにより、一部の地図表示機能が使用できない場合があります。

GGG  
メモ

- 拡大図割り込み表示は、タッチパネルモニターLZ-M700、LZ-770W、LZ-700W、LCD-M66(LCD-M60)、DPV990(DPV900)、VZ907を接続しているときに使用できます。ナビゲーション以外の画面に割り込んだ拡大図をすぐに消したいときは画面にタッチしてください。
- 現在地補正の機能は、フェリーでの航送など、ナビゲーションシステムの電源がオフの状態では位置や方向が変わり、現在地や進行方向が正しく表示されていないときなどに使用してください。
- オーディオATTが使用できる機種は下記の通りです（'98年9月現在）。  
M707、M505、Z707、Z505、DR-F900、CR-F900、MZ907、DPX-990MD、DPX-910MD、DPX-770MD、DPX-710MD、DPX-700、DPX-500、DPV990、DPV900、VZ907
- お買い上げ時のモニター画面はワイドに設定されています。ノーマル画面のモニターに接続している場合は、リモコンでノーマル画面の設定に切り替えてください。（ノーマルモニターでワイド画面の設定になっている場合は、タッチパネルによる操作が正しくできなくなります。）  
プログラムが書き換わった場合は初期のワイド設定になります。

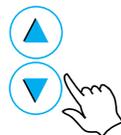
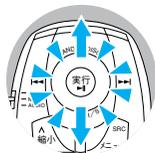
## システムを設定する



メニューを表示させます。



- 1 **機能設定** を選択します。
- 2 **システム設定** を選択します。
- 3 各項目を選択します。  
同じ項目を選択するごとに「する」と「しない」が交互に切り替わります。
- 4 **OK** を選択します。  
機能設定メニューに戻ります。

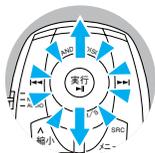


## 機能設定 — システム設定

## 音量を設定する

メニューで **機能設定** - **システム設定** を選択して、システム設定画面を表示させます。

- 1 **音量設定** を選択します。
- 2 音量を選択します。  
ジョイスティックで数字を選択するか、数字にタッチして、音量を設定します。選択した音量で確認ガイドがされます。
- 3 **戻る** を選択します。  
システム設定メニューに戻ります。



## 現在地を手動で設定する

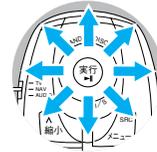


メニューで **機能設定** - **システム設定** を選択して、システム設定画面を表示させます。

**1** **現在地補正** を選択します。



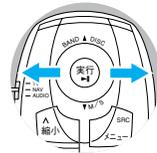
**2** 現在地を選択します。  
地図を上下左右にスクロールして、カーソルを現在地に合わせます。



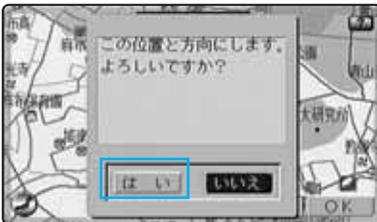
**3** **OK** を選択します。



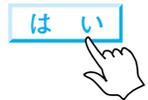
**4** 進行方向を選択します。  
ジョイスティックの左右、または  や  を選択して、自転車マークの方向を合わせます。自転車マークの方向は15°単位で選択できます。



**5** **OK** を選択します。



**6** **はい** を選択します。  
システム設定メニューに戻ります。



使いこなす



現在地補正中の地図の向きは、現在地の地図の向きと同じになります。

## デモモードを設定する



メニューを表示させます。

**1** **情報表示** を選択します。



**2** **デモモード** を選択します。  
● オンにするとシミュレーションが始まります。



- デモモードをオンに設定しておく、操作しない時間が続くと自動的にデモコースのシミュレーションが始まるようになります。
- デモコースは使用している地図ディスクにより自動的に設定されます。

# 地点検索

アミューズメントパークや名所旧跡、各種の施設などの位置を、電話番号、住所／施設の種類、施設名、経緯度から探し出すことができます。また、現在地に最寄りの施設を探すこともできます。

検索する方法には次の6種類があります。

- 電話番号検索 電話番号で施設の場所や情報を検索します。
- 住所・施設検索 住所や施設の種類で場所や情報を検索します。
- 名称検索 施設の名称で場所や情報を検索します。
- 最寄検索 現在地またはカーソルから下記の距離内にある施設を検索します。  
付属ディスク：8km  
別売品の詳細版ディスク“KNA-VD6110～6170”：25mまたは50mスケールで1km
- 登録地点検索 登録した地点を検索します。
- 経緯度検索 経度と緯度で場所を検索します。
- マップコード検索 観光スポットに設定されているコード番号で場所を検索します。

検索した場所を目的地や立寄地などとして登録できます。



ナビ研S規格準拠の地図ディスクではIIS、登録地点および経緯度検索が使用できます。IISについては、ご使用のナビ研地図ディスク付属の取扱説明書をご覧ください。

## 電話番号検索

電話番号が一致する施設の場所や情報を検索します。

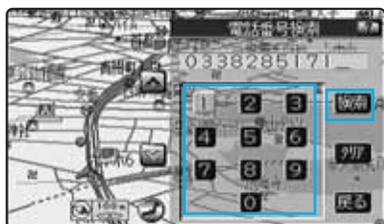
該当する電話番号の施設がない場合には、登録地点の中から検索されます。登録地点にもない場合には、電話番号の市外局番(たとえば「03」)と市内局番(たとえば「5457」)が使われている地域の地図が表示されます。

### 電話番号で探す

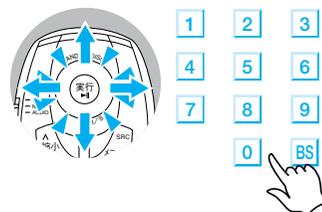


メニューを表示させます。

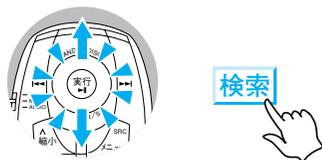
- 1 **地点検索** を選択します。
- 2 **電話番号検索** を選択します。



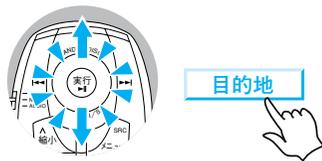
- 3 電話番号を入力します。  
市外局番および市内局番を続けて6桁以上指定します。  
リモコンのテンキーで入力することもできます。



- 4 **検索** を選択します。  
指定した電話番号が使用されている地域の地図が左側に表示されます。



- 5 登録先を選択します。  
検索した地点を登録したい項目を選びます。  
ダイヤルを選択するとMC-1000に接続されている携帯電話のダイヤリングが始まります。ダイヤルはMC-1000(別売品)を接続時に、検索した地点に電話番号が登録されている場合に選択できます。





電話番号で検索できる場所は、付属の地図ディスクおよび別売品の地区詳細版地図ディスク（KNA-VD6110～6170）に収録されている施設で電話番号データのあるものだけです。セットされている地図ディスクの範囲を越えた地域の電話番号を検索したときは、検索した電話番号の市街局番の中心部を6kmスケール地図で表示します。



- 検索する電話番号は10桁をすべて入れる必要はありません。市外局番と市内局番の合計6桁以上を入力すると検索できます。
- 電話番号のすべての桁を入力しないで検索した場合は、対象になる電話番号の情報があると、対象施設のリストが表示されます。情報がない場合は、局番などのエリアの地図が表示されます。



- 電話番号をまちがえたときは「クリア」を選択してください。右端の1文字が消えます。
- 電話番号検索を中止するときは「戻る」を選択してください。情報検索メニューに戻ります。

## 施設検索

施設の種類や名称で場所や情報を検索します。

なお、付属の地図ディスクで検索できる施設の種類は次のとおりです。

### 施設の種類

IC/SA/PA、フェリー、空港、駅、交差点、有料IC、道の駅、公園、城・城跡、競技場、動物園/植物園、水族館、キャンプ場、博物館、名所、旧跡、神社・寺、美術館、ゴルフ場、遊園地、スキー場、競馬、マリナー、デパート、カー用品店、ホテル/旅館、温泉、役所、ホール、病院、警察署、ケンウッドSC

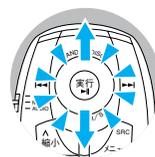
### 施設の種類で探す



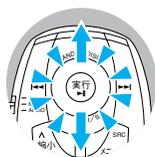
メニューを表示させます。



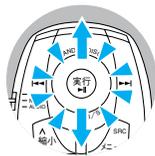
- 1 **地点検索** を選択します。
- 2 **住所・施設検索** を選択します。
- 3 カテゴリーを選択します。



- 4 都道府県などを選択します。  
施設のある都道府県を選択します。  
**IC/SA/PA**、**有料IC** では  
路線名を選択します。

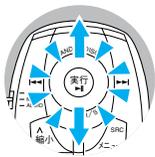


- 5 目的の施設を選択します。  
**駅** では路線名を選択して、目的の駅を選択します。



指定した施設が中心の地図が左側に表示されます。

- 6 登録先を選択します。  
検索した地点を登録したい項目を選びます。  
ダイヤルを選択するとMC-1000に接続されている携帯電話のダイヤリングが始まります。ダイヤルはMC-1000（別売品）を接続時に、検索した地点に電話番号が登録されている場合に選択できます。



目的地



- **←** / **→** を選択すると、リストを「あかさたな…」の順に飛ばすことができます。
- 選択をまちがえたときは **戻る** を選択してください。選択前の画面に戻ります。

施設の住所で探す



メニューを表示させます。

**1** **地点検索** を選択します。

**2** **住所・施設検索** を選択します。

**3** **住所** を選択します。



**4** 都道府県などを選択します。  
施設のある都道府県を選択します。  
政令指定都市は市名を選択できます。



**5** 市区を選択します。  
施設のある市区を選択します。

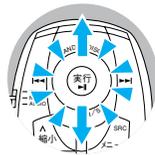
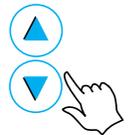
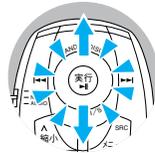
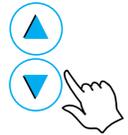
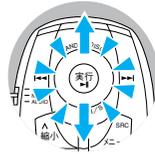
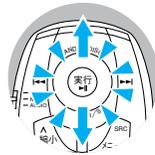
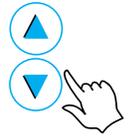
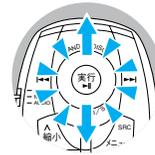


**6** 町村を選択します。

指定した住所が中心の地図が左側に表示されます。



**7** 登録先を選択します。  
検索した地点を登録したい項目を選びます。  
ダイヤルを選択するとMC-1000に接続されている携帯電話のダイヤリングが始まります。ダイヤルはMC-1000（別売品）を接続時に、検索した地点に電話番号が登録されている場合に選択できます。



使いこなす



● **←** / **→** を選択すると、リストを「あかさたな…」の順に飛ばすことができます。  
● 選択をまちがえたときは **戻る** を選択してください。選択前の画面に戻ります。

## 施設などの名前で探す



メニューを表示させます。



**1** **地点検索**を選択します。

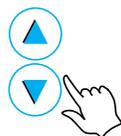
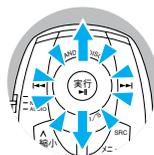
**2** **名称検索**を選択します。

**3** 都道府県を選択します。

別売品の地区詳細版ディスク“KNA-VD6110～6170”を使用しているときは、都道府県を選択します。

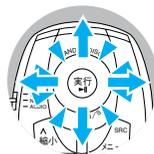
主要施設を検索する場合は、**主要**を押せば、都道府県を選択しなくても施設名で検索できます。

付属ディスクを使用しているときは操作**4**に進みます。



**4** 施設名を入力します。

施設名をひらがなで入力します。文字をまちがえたときは**BS**を選択してください。右端の1文字が消えます。



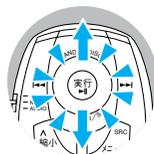
**5** **検索**を選択します。

指定した施設名称に類似した施設のリストが表示されます。

**6** 目的の施設を選択します。

選択した施設の情報が表示されます。

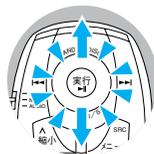
指定した施設が中心の地図が左側に表示されます。



**7** 登録先を選択します。

検索した地点を登録したい項目を選びます。

ダイヤルを選択するとMC-1000に接続されている携帯電話のダイヤリングが始まります。ダイヤルはMC-1000(別売品)を接続時に、検索した地点に電話番号が登録されている場合に選択できます。



- 地図ディスクに収録されている施設などの名称以外は入力できません。
- 操作**4**で施設名を入力するとき、フルネームを入力する必要はありません。入力された施設名に類似した施設を検索することができます。
- 地名などの一般的な名前を指定すると、リストに表示される施設が多数になります。
- 拗音(しゃの「ゃ」など)を入力するときは、文字(「や」など)を入力したあとで**小字**を選択してください。
- 名称検索を中止するときは**戻る**を選択してください。地点検索メニューに戻ります。

## 最寄検索

付属の地図ディスクおよび地区詳細版地図ディスク（KNA-VD6110～6170）を使用時は、現在地またはカーソルの周辺にあるガソリンスタンドなどの施設を検索できます。

### 最寄りの施設を探す



メニューを表示させます。

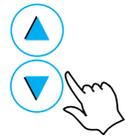
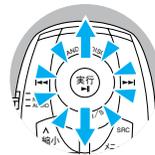
**1** **地点検索** を選択します。

**2** **最寄検索** を選択します。



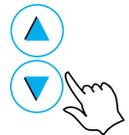
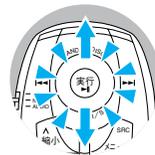
**3** 検索する施設の種類を選択します。

ジョイスティックを上下に動かすか、▲または▼にタッチすると、検索対象の施設の種類をスクロールできます。検索が終了すると、検索された施設(名称、距離)のリストが表示されます。



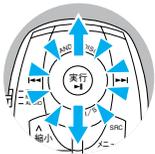
**4** 目的の施設を選択します。

ハイライトされている施設を中心とした地図が左側に表示されます。



**5** 登録先を選択します。

検索した地点を登録したい項目を選びます。ダイヤルを選択するとMC-1000に接続されている携帯電話のダイヤリングが始まります。ダイヤルはMC-1000（別売品）を接続時に、検索した地点に電話番号が登録されている場合に選択できます。



### メモ

- 付属の地図ディスクでは100mスケール以上の地図を表示しているときに、現在地またはカーソルから8km以内の施設が検索できます。
- 別売品の地区詳細版地図ディスクでは50mまたは25mスケールの地図を表示しているときに、現在地またはカーソルから1km以内の施設が検索できます。100mスケール以上の地図を表示しているときは検索できません。
- 最寄検索を中止するときは「戻る」を選択してください。地点検索メニューに戻ります。
- ボイスコントロールユニットVR-1000を接続している場合は、『最寄リストの表示』は次のボイスコマンドで操作できます。

「最寄りの○○を探索」または「最寄りの○○の探索」

〈○○はガソリンスタンド（スタンド）、ファーストフード、コンビニエンスストア（コンビニ）、スーパーマーケット（スーパー）、デパート、銀行、ホテル、駐車場です〉

## 登録地点検索

登録した地点の場所や情報を検索することができます。

### 登録地点を探す



メニューを表示させます。

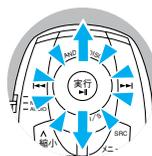
使いこなす



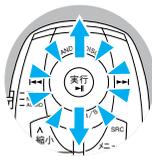
**1** **地点検索** を選択します。

**2** **登録地点** を選択します。  
登録されている地点情報リストが表示されます。

**3** 情報を表示する地点を選択します。  
ハイライトされている地点を中心とした地図が左側に表示されます。  
ジョイスティックを上下に動かすか、▲または▼にタッチすると、リストをスクロールできます。



**4** 登録先を選択します。  
検索した地点を登録したい項目を選びます。  
ダイヤルを選択するとMC-1000に接続されている携帯電話のダイヤリングが始まります。ダイヤルはMC-1000（別売品）を接続時に、検索した地点に電話番号が登録されている場合に選択できます。



目的地



- 地点の登録については43ページをご覧ください。
- 登録地点検索を中止するときは「戻る」を選択してください。地点検索メニューに戻ります。

## 経緯度検索

経度(東経)と緯度(北緯)で場所を検索できます。

### 経緯度で探す



メニューを表示させます。

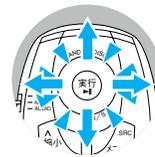


**1** **地点検索** を選択します。

**2** **経緯度検索** を選択します。

**3** 入力するボックスを選択します。

**4** 値を入力します。  
リモコンのテンキーまたは  
▼ ▲ で値を入力します。



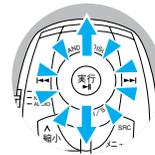
139 40 49

35 43 35



**5** **検索** を選択します。

指定した経緯度付近の地図が  
表示されます。

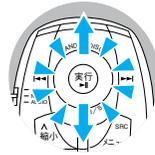


検索



**6** 登録先を選択します。

検索した地点を登録したい項目  
を選びます。



目的地



### メモ

- 経緯度検索を中止するときは **戻る** を選択してください。地点検索メニューに戻ります。
- 本システムは、世界標準 (WGS-84) に基づいて緯度・経度を算出します。その他の標準に基づいた経緯度を入力すると、実際の場所と異なる地点の地図が表示される場合があります。

## マップコード検索

観光地などに設定されているコード番号を入力して、情報や場所を検索します。  
 分かりにくい観光地でも、コード番号を入力するだけで、ピンポイントで場所を探し出せます。

### マップコードで探す

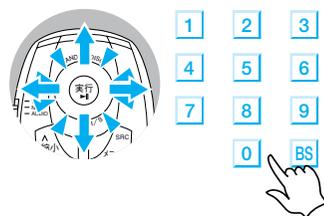


メニューを表示させます。

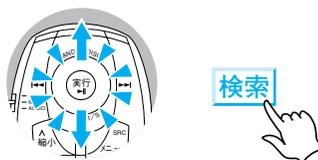
- 1 **地点検索** を選択します。
- 2 **マップコード検索** を選択します。



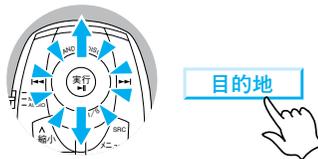
- 3 マップコードを入力します。  
4～10桁のマップコードを入力します。  
リモコンのテンキーで入力することもできます。



- 4 **検索** を選択します。



- 5 登録先を選択します。  
検索した地点を登録したい項目を選びます。



使いこなす



- マップコードについては、付属のマップコードINDEX集をご覧ください。
- カーソル位置がマップコードが設定されている地点にあっているときに、**地点検索** - **マップコード** を選択すると、その地点のマップコードが番号入力欄に表示されます。

# 地点登録

本機では、カーソル ⊕ の合っている位置を次の地点として登録できます。

- 記憶しておきたい場所(地点)
- 行き先 (目的地)
- 通る場所 (立寄地)
- VICS情報を表示する場所 (VICSモニター)



VICSモニター地点については76ページをご覧ください。

## 地点の登録

本機では、100か所までの地点を登録できます。

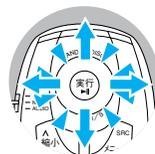
### 地点を登録する

- 1 登録する地点を選択します。  
カーソル ⊕ を登録する地点に合わせて、(実行)を押すか、メニューの「登録」を選択します。登録メニューが表示されます。



- 2 「地点登録」を選択します。

地点が登録されます。



地点登録



- 登録する地点は、地図をスクロールしながら探すこともできますし、施設名検索などの地点検索(34ページ)を使って探し出すこともできます。
- ワイドタッチパネルモニターが接続されている場合には、登録メニューが表示されているときでもサークルの囲りにタッチすると地図をスクロールできます。

## 登録地点の編集

登録した地点は、マークで地図上に表示したり、近づくとサウンドが鳴るように設定できます。

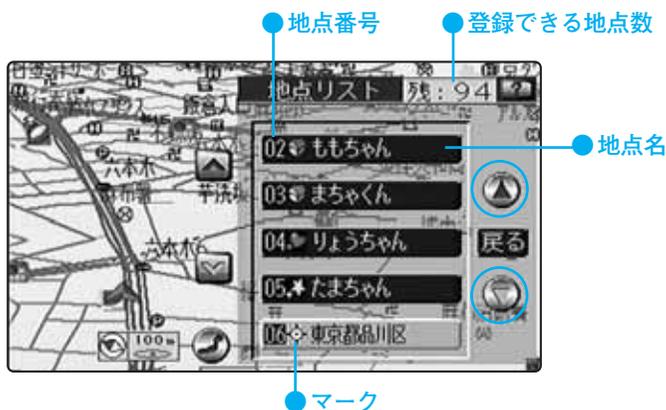
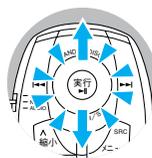
### 登録地点のリストを見る



メニューを表示させます。

1 **編集** を選択します。

2 **登録地点** を選択します。  
登録されている地点のリストが表示されます。



使いこなす



**戻る** を選択すると、編集メニューに戻ります。

編集 — 登録地点

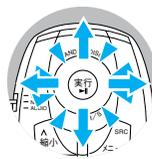
### 登録地点の地図を見る



メニューで **編集** - **登録地点** を選択して、地点リスト画面を表示させます。

1 地図を表示する地点を選択します。

2 **地図** を選択します。  
選択した地点を中心とした地図が表示されます。



地図が表示されたときに **スマ** または **ジョイスティック** の **実行** を押すかメニューバーの **登録** にタッチすると、目的地や立寄り地などに登録できます。

登録地点のマークを変更する

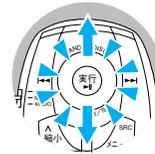


メニューで **編集** - **登録地点** を選択して、地点リスト画面を表示させます。

- 1 マークを変更する地点を選択します。



- 2 **マーク編集** を選択します。

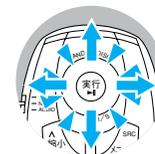


マーク編集



- 3 マークを選択します。  

 マークを選択すると、登録地点の500m以内に近づくときと音声がかかります。



- 4 **OK** を選択します。  
 地点編集画面に戻ります。

- MEMO ● 音声入り地点に一度近づいて音声がかると、再度近づいても音声はかかりません。  
 (途中でエンジンキーを入れ直した場合は音声がかかります。)  
 ● ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は地点音声はかかりません。

登録地点に名前をつける

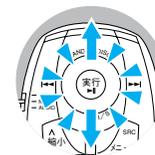


メニューで **編集** - **登録地点** を選択して、地点リスト画面を表示させます。

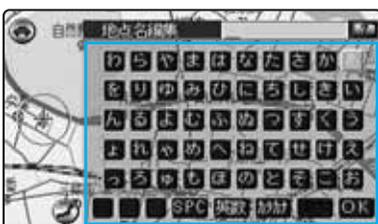
- 1 名前をつける地点を選択します。



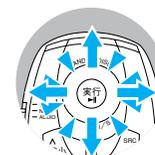
- 2 **地点名編集** を選択します。



地点名編集



- 3 名前を入力します。



- 4 **OK** を選択します。  
 地点編集画面に戻ります。

- MEMO 文字の入力方法については64ページを参照してください。

## 登録地点に電話番号を設定する

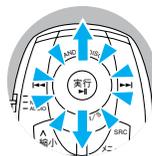


メニューで **編集**-**登録地点** を選択して、地点リスト画面を表示させます。

- 1 電話番号をメモする地点を選択します。



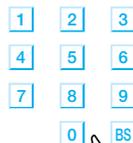
- 2 **電話番号編集** を選択します。



電話番号編集



- 3 電話番号を入力します。  
12桁までの電話番号を入力します。



- 4 **OK** を選択します。  
地点編集画面に戻ります。

- メモ**
- まちがえたときには **クリア** を選択してください。最後に入力した数字が消えます。
  - 登録地点に電話番号を設定しておく、電話番号検索の対象になります。

使いこなす

## 登録地点を地図上に表示する

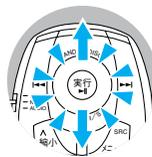


メニューで **編集**-**登録地点** を選択して、地点リスト画面を表示させます。

- 1 表示を設定する地点を選択します。



- 2 **名称表示** を選択します。  
選択するごとに●表示/○非表示が交互に切り替わります。



名称表示



- 3 **戻る** を選択します。  
地点編集画面に戻ります。

登録地点を消去する

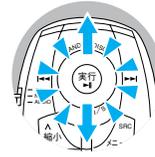


メニューで **編集**-**登録地点** を選択して、地点リスト画面を表示させます。

**1** 消去する地点を選択します。



**2** **地点消去** を選択します。

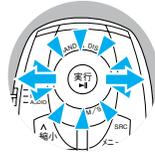


地点消去



**3** 消去を確認します。

消去するときには **はい**、消去しないときには **いいえ** を選択します。



はい



使いこなす



消去した登録地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、十分に確認して行ってください。

# コース設定

現在地から立寄地(通りたい場所)を通して目的地(行きたい場所)に至る経路をコースといい、立寄地や目的地のことをコース地点といいます。

ルート探索するコース地点をあらかじめ設定しておくことができます。

## コースの設定

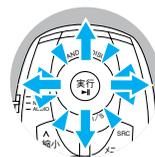
目的地は1か所、立寄地は3か所まで設定できます。

### 目的地または立寄地を登録メニューで設定する

- 1 登録する場所を選択します。  
カーソル(+)を登録する地点に合わせて、(実行)を押すか、メニューバーの「登録」を選択します。  
登録メニューが表示されます。



- 2 「目的地登録」または「立寄地登録」を選択します。  
登録完了のメッセージが表示された後、ルート探索画面が表示されます。



目的地登録

使いこなす



平面表示中に目的地が設定されていると、自車サークル上に目的地の方向を示す●表示(目的地方向表示)が表れます。また、誘導中は示す方向を、「ガイド設定」-「目的対象」の設定に連動して、目的地または立寄地に切り替えることができます。



- 目的地や立寄地は「現在のコース」として登録されています。
- マガジン/ディスクのイジェクト、または使用するディスクの変更をすると登録していた目的地や立寄地は消されます。



メモ

- 登録する場所は、地図をスクロールしながら探すこともできますし、施設名検索などの地点検索(34ページ)を使って探し出すこともできます。
- 目的地の登録に続いてルート探索を行う場合は51ページをご覧ください。  
すぐにルート探索を行わない場合は、ルート探索画面で「戻る」を選択してください。登録メニュー画面に戻ります。
- この取扱説明書では、目的地と3か所までの立寄地をまとめてコースポイントと呼びます。

## 現在のコースの編集

現在のコースの立寄地の順番を変えたり、目的地や立寄地を消去するなどの編集を行えます。

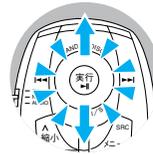
### 現在のコースを見る



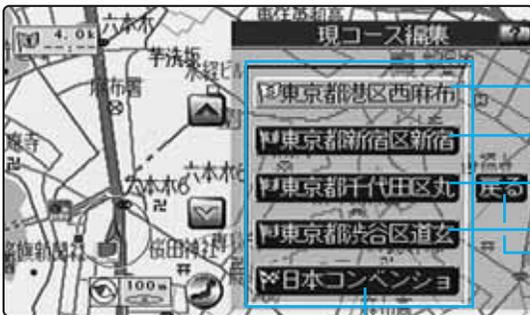
メニューを表示させます。

**1** **編集** を選択します。

**2** **現在のコース** を選択します。  
現在のコース（出発地、立寄地、および目的地）が表示されます。



現在のコース



● 現在地（出発地）

● 立寄地

● 編集メニューに戻る

● 目的地



- ルート探索を行うまでは現在地が出発地となっていますが確定していません。ルート探索を行うと、ルート探索を行ったときの現在地が出発地として確定します。
- **戻る** を選択すると、編集メニューに戻ります。

**編集** — 現在のコース

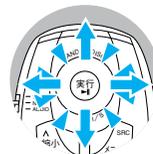
### 目的地や立寄地の地図を見る



メニューで **編集** - **現在のコース** を選択して、現コース編集画面を表示させます。

**1** 地図を表示するコースポイントを選択します。

**2** **地図** を選択します。



地図

## 現在のコースの立寄地の順番を変える

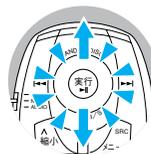


メニューで **編集—現在のコース** を選択して、現コース編集画面を表示させます。

**1** 順番を変える立寄地を選択します。



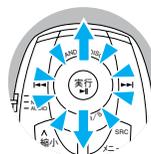
**2** **順序入換** を選択します。



順序入換



**3** 入れ換え先を選択します。  
入れ替え先を選択すると現コース地点メニューに戻ります。



図と図の間



- 操作 **1** で選択した立寄地によって操作 **3** で選択できる入れ換え先は異なります。
- 入れ換えをしないときは、**戻る** を選択すると現コース地点メニューに戻ります。

使いこなす

## 目的地や立寄地を消去する

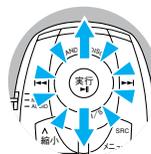


メニューで **編集—現在のコース** を選択して、現コース編集画面を表示させます。

**1** 消去するコースポイントを選択します。



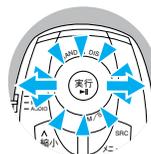
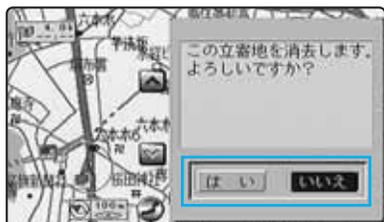
**2** **地点消去** を選択します。



地点消去



**3** 消去を確認します。  
消去するときには **はい**、消去しないときには **いいえ** を選択します。



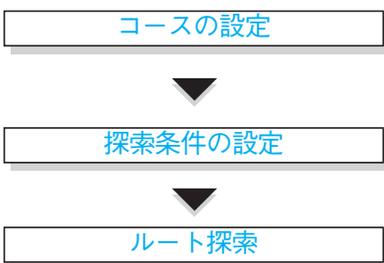
はい いいえ



消去した目的地などを元に戻す方法はありません。まちがいのないように、十分に確認して行ってください。

# ルート探索

ルートの探索は次の流れで行います。



目的地と立寄り地（コース）を登録します。  
あらかじめ、登録メニューでコースを設定しておくこともできます。  
また、保存されているコースを使うこともできます。

ルートを探索するときの条件を選択します。

ルート探索を開始します。

探索したルートは、ドライブ中のルートガイドに使用されるほか、ドライブ前にドライブをシミュレーションしたりすることもできます。

## ルートの探索

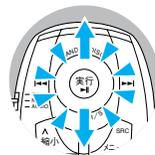
コースに従って、通る道筋を具体的に探すことをルート探索といいます。  
ルート探索は、現在のコースまたは新たに設定するコースに対して行えます。

### 現在のコースでルートを探索する

**1** **ルート** を選択します。  
停車中に、リモコンの **ルート** を押すか、**ルート** にタッチします。  
ルートメニューが表示されます。



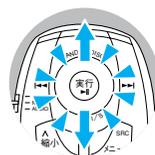
**2** **探索条件の変更** を選択します。



探索条件の変更



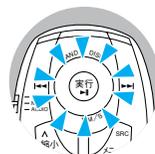
**3** **ルート探索** を選択します。  
ルート探索が開始されます。  
探索条件の変更方法は55ページをご覧ください。



ルート探索



**4** **ガイド** を選択します。  
**ガイド** を選択すると、表示されていたルートに従ってガイドが開始されます。



ガイド





●本機に挿入されている地図ディスクのエリア外へのルート探索はできません。収録エリアは以下の通りです。

Vol.1：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、栃木県、群馬県、茨城県、東京都、埼玉県、千葉県

Vol.2：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、栃木県、茨城県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

Vol.3：福井県、滋賀県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



一般道路上にいるのに高速道路からのルートが探索されてしまうなど、現在地と異なる種別の道路からのルート探索が行われる場合があります。このようなときは、57ページの『ルートを再探索する』を行ってください。

異なる種別の道路が近くにあるときはルートを開始する地点を変更してルート探索を行います。

## 新しいコースを作ってルートを探る

### 1 ルートを選択します。

停車中に、リモコンの を押すか、**ルート** にタッチします。  
ルートメニューが表示されます。

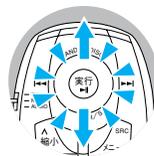


### 2 目的地を探す方法を選択します。

地図をスクロールしながら目的地を探す場合は **地図画面で検索** を選択します。目的地を情報検索で探す場合は **名称で検索**、**住所施設名で検索**、**電話番号で検索**、または **最寄施設名で検索** を選択します。

登録地点を目的地にする場合は **登録地点で検索** を選択します。

**地図画面で検索** 以外を選択すると、検索終了後に **目的地** を選択すれば目的地に登録、**立寄地** を選択すれば立寄地に登録できます。



**3** 目的地にカーソル **+** を合わせます。



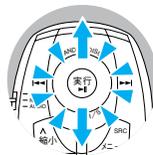
**4** **登録** を選択します。  
目的地が登録され、ルート探索画面に戻ります



登録



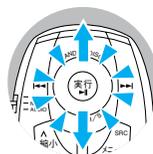
**5** **立寄地登録** を選択します。  
立寄地を設定しないときは操作**9**から操作してください。



立寄地登録



**6** 立寄地を探す方法を選択します。  
地図をスクロールしながら立寄地を探す場合は**地図画面で検索**を選択します。  
立寄地を情報検索で探す場合は**名称で検索**、**住所施設名で検索**、**電話番号で検索**、または**最寄施設名で検索**を選択します。  
登録地点を目的地にする場合は**登録地点で検索**を選択します。



住所施設名で検索

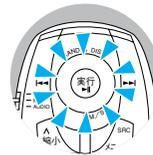


使いこなす

**7** 立寄地にカーソル **+** を合わせます。



**8** **登録** を選択します。  
立寄地が登録され、ルート探索画面に戻ります

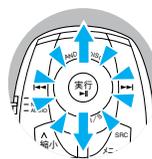


登録





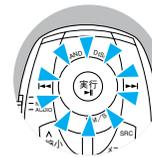
- 9** **ルート探索**を選択します。  
 ルート探索が開始されます。  
 探索条件を変更する場合は57ページをご覧ください。  
 ルート探索が終了すると、探索されたルートが表示されます。



ルート探索



- 10** **ガイド**を選択します。  
**ガイド**を選択すると、表示されていたルートに従ってガイドが開始されます。



ガイド



- メモ**
- ルート探索を行う場合は目的地は必ず登録してください。
  - 立寄地は、必要がなければ、設定する必要はありません。
  - 以前設定されている立寄地も使用されます。使用しない立寄地は消去してください。(立寄地の消去は50ページをご覧ください。)
  - 地図スクロールで登録した目的地や立寄地は一般道路上に設定されます。なお、住所施設名検索で有料道路上のIC/SA/PAなどを目的地や立寄地に登録しても、最寄りの一般道路に設定される場合があります。
  - 地図ディスクを取り出すと、登録したコース地点は削除されます。
  - 地図をスクロールしながら目的地や立寄地を設定する場合は48ページ、目的地や立寄地を施設検索などの情報地点検索で探す場合は34ページ、また登録地点を目的地や立寄地にする場合は44ページをご覧ください。
  - 一般道路上にいるのに高速道路からのルートが探索されてしまうなど、現在地と異なる種別の道路からのルート探索が行われる場合があります。再度ルート探索を行ってください。異なる種別の道路が近くにあるときはルートを開始する地点を変更してルート探索を行います。

# 探索条件

ルートの探索時に、次の条件を設定できます(探索条件)。

- 有料道使用**  
する：高速道路や有料道路を使用するルートを探します。
- 時間優先探索**  
する：所要時間を優先してルートを探します。
- 距離優先探索**  
する：走行距離を優先してルートを探します。
- まわり道探索**  
する：主要幹線を極力避けるルートを探します。

**メモ**

- 高速道路や有料道路を使用しないと到達できないコースポイントがある場合には、**[有料道使用]**を「しない」に設定しても、有料道路を使用するルートが探索されます。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は時間優先/距離優先/まわり道探索の設定はできません。1ルートのみ探索になります。
- 時間優先探索、距離優先探索、まわり道探索全てを「しない」に設定した場合は時間優先探索が自動的に「する」に設定されます。
- 時間優先で探索されたルートは、実際の交通状況により所要時間がかかる場合があります。
- 距離優先で探索されたルートは、探索距離により最短距離にならない場合があります。
- まわり道探索では、有料道路使用に設定しても有料道路を使用しない場合があります。また、探索距離が長いと探索できない場合があります。

使いこなす

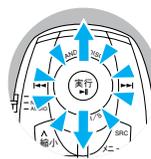
## 探索条件を設定する



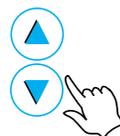
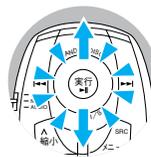
ルート探索画面を表示させます。



**1** **探索条件**を選択します。



**2** 条件項目を選択します。  
選択するごとに探索条件が「する」/「しない」に切り替わります。



**3** **OK**を選択します。  
ルート探索画面に戻ります。

**メモ**

探索条件の設定は、次にルート探索を行うときから有効です。



ボイスコントロールユニット VR-1000 を接続している場合は、『時間優先』、『距離優先』、『まわり道』は以下のボイスコマンドで操作できます。

- 時間優先でルートを探索 : 「ジカンユウセン時間優先タンサクで探索」または「ジカンユウセン時間優先タンサクでルート探索」
- 距離優先でルートを探索 : 「キョリユウセン距離優先タンサクで探索」または「キョリユウセン距離優先タンサクでルート探索」
- まわり道でルートを探索 : 「ミチまわり道タンサクで探索」または「ミチまわり道タンサクでルート探索」
- 全条件でルートを探索 : 「サン3ルート」
- 表示ルートの切り替え : 「タンサク探索」
- ルートの決定 : 「セット」

## ルートの再探索

再度探索するを選択すると、次の3種類のルートを、状況に応じて再探索します。

- 一般道路上にいるのに高速道路からルート探索されるなど、現在地と異なる種類の道路からルート探索が行われた場合、出発地の道路種別を変更してルートを探索します。
- 探索されたルートとは異なる道路を使用して目的地まで行きたいとき、別のルートを探索します。
- ルートの途中でルートからはずれたときに、現在地を出発地とし、まだ通過していない立寄地を順に通って目的地に至るルートを探索します。ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は、このルートのみ再探索できます。

再探索を行うと、元のルートは消去されます。

**メモ** 現在地がルートからはずれたときに、元のルートに戻るルートを探る場合は、「オートリルート」を「する」に設定します。自動的に元のルートに戻るルートを探ります。設定方法は63ページをご覧ください。

### ルートを再探索する

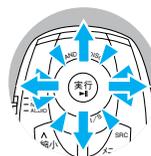
#### 1 ルートを選択します。

停車中に、リモコンの **VIEW** を押すか、**ルート** にタッチします。ルートメニューが表示されます。



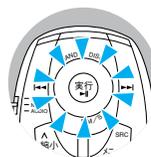
#### 2 再度探索するを選択します。

ルート探索が終了すると、探索されたルートが表示されます。



#### 3 ガイドを選択します。

**ガイド** を選択すると、表示されていたルートに従ってガイドが開始されます。



- メモ**
- 走行中は画面が異なります。また、探索ルートの結果は表示されません。すぐにルートガイドを開始します。
  - 走行中は、リモコンの **VIEW** を押すだけで再探索できます。
  - 探索条件と探索結果が合わない場合があります。

# ルートガイド

ルート探索が終わると、ルートが本機に記憶されます。

あらかじめルートを確認したり、ドライブ中にルートガイドを受けることができます。

## ルートの情報

ルート探索した後で、ルート全体を確認したり、ルートに従ったドライブをシミュレーションすることができます。

### ルートの全体を地図で見る

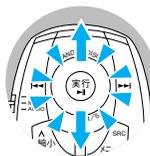


メニューを表示させます。



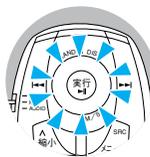
**1** **情報表示** を選択します。

**2** **ルート表示** を選択します。  
ルート全体の地図が表示されます。



ルート表示

**3** **戻る** を選択します。  
見終わったら **戻る** を選択します。情報表示画面に戻ります。



戻る

### ドライブをシミュレートする

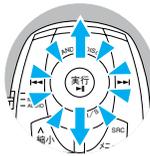


メニューを表示させます。



**1** **情報表示** を選択します。

**2** **シミュレーション** を選択します。  
シミュレーションが開始されます。



シミュレーション

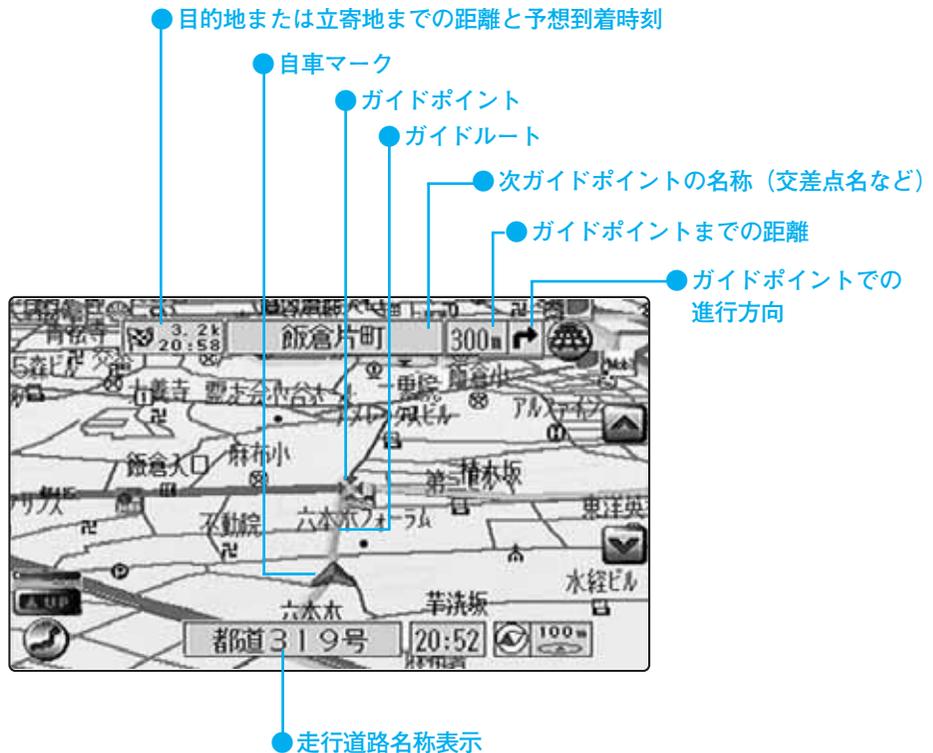
- 途中で中止する場合は **戻る** を選択すると情報表示メニュー画面へ、リモコンの ボタンを押す、または にタッチすると地図画面に戻ります。
- シミュレーション中は2画面表示（13ページ）にはできません。

# ルートガイド

ガイドを始めると、交差点などで画面表示(拡大図など)とボイス(ボイスガイド)で進行方向が案内されます。

## ルート上 (ガイドポイント間) を走行しているときは

ルート上を走行しているときには、ナビゲーション画面に次の情報が表示されてガイドされます。



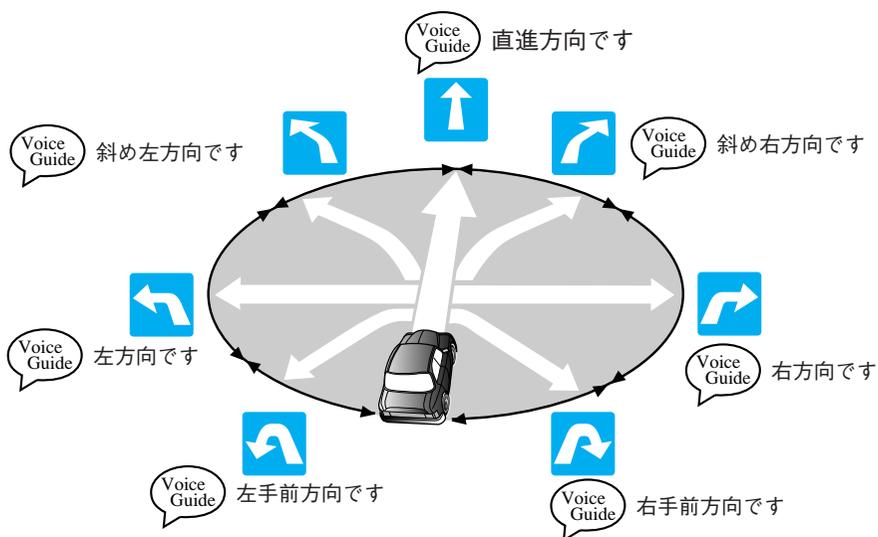
使いこなす

- 注意**
- ルートガイド中に画面やボイスで案内されるルートや進行方向などが実際の道路の状況と異なる場合があります。これは、地図ディスクの作成時期との関係で、地図データや交差点情報などが実際の道路の状況と多少異なる部分があるためです。走行時には、実際の道路の状況や交通規制などを十分に確認し、注意して走行してください。
  - ルートガイドが始まらない場合は、車速信号検出が正しく接続されていないことが考えられます。正しく接続されているか確認してください。

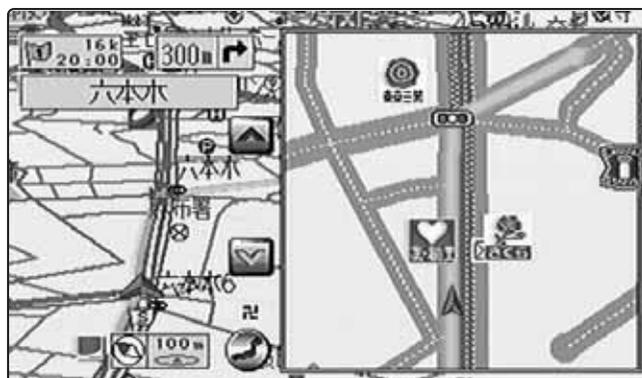
- メモ**
- 立寄り地は「通過点」とガイドされます。
  - 距離および予想到着時刻表示の対象を切り替える方法については63ページをご覧ください。
  - リモコンの③を押すか、メニューバーの「ガイド」を選択すると、次のガイドポイントでのボイスガイドを聞くことができます。
  - 走行道路名称表示は、交差点名称のある交差点や高速道路のSA/PAに近づくと、その名称に切り替わります。また、交差点名称を表示しているときは地図上に信号機マークが表示されます。

## ガイドポイントに近づくと

ガイドポイントの約700m手前に近づくと、ボイスガイドで進行方向がガイドされます。

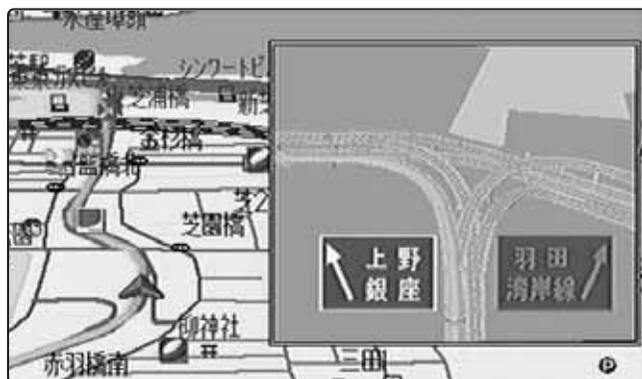


さらに、約300m手前に近づくと、ボイスガイドとともに、ガイドポイントの名称（交差点名など）や、ガイドポイント付近の形状がわかる拡大図が表示されます。



ガイドポイントを通過すると、通常の現在地の地図の画面に戻ります。

高速道路のジャンクションはJET Guideで表示されます。



## メモ

- JET Guideは「JET Guide」が「する」に設定(28ページ)されているときに表示されます。
- JET Guideは全国高速道路の約100ヶ所のジャンクションが対象となります。JET Guide情報が収録されていない場合は、拡大図表示になりません。
- データの収録時期の関係上、JET Guideの方面看板表示名称と音声ガイドの名称が異なる場合があります。
- 交差点名称情報が収録されていない場合は「交差点」と表示されます。
- 一般道路と高速道路/有料道路とでは、ボイスガイドや拡大図が表示されるタイミングが異なります。
- 拡大図やJET Guideが表示されているときにリモコンの(実行)を押す、または拡大図やJET Guide画面にタッチすると、拡大図やJET Guideが消えて現在地の地図の画面に戻ります。ただし、その次のガイドポイントが近い場合には、その拡大図が引き続き表示されます。
- 「拡大図表示」を「しない」に設定しているときは、拡大図表示は行われません。詳しくは63ページをご覧ください。拡大図を表示しない場合は、画面上部に下図のようにガイドポイントまでの距離が表示されます。



- 有料道路では、拡大図は表示されません。
- 立寄地を設定した場合、その地点を通過しないと次のルートガイドを行わなくなることがあります。
- 「音声設定」を「0(無音)」に設定しているときは、ボイスガイドは行われません。詳しくは32ページをご覧ください。

## ルートからはずれると

ルートからはずれると、元のルートに戻る道筋が自動的に探索されて表示されます(オートリルート)。

## メモ

- 意図的にルートからはずれるときなどには、「オートリルート」を「しない」に設定(63ページ)しておく便利です。ルートの書き換えなどが発生しません。
- ルートから大きくはずれた場所からは、再探索(57ページ)でルートを探し直すことをお勧めします。大きくははずれていない場所からは、オートリルートをお勧めします。
- 元のルートに戻ろうとして何度もオートリルートしてしまうときなどは、再探索(57ページ)でルートを探し直すことをお勧めします。

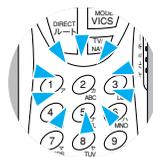
## ハイウェイ情報の表示

高速道路を走行中には、サービスエリア(SA)/パーキングエリア(PA)に関する情報(距離や設備など)をハイウェイ情報として表示できます。

### ハイウェイ情報を見る

**1** ハイウェイモードに移行します。

リモコンの②を押すか、**ハイウェイ**にタッチします。



ハイウェイ



● 現在地から近い順のIC/SA/PAの情報リストに戻ります。



● IC/SA/PAのリストをスクロールします。

使いこなす



- [VICS] を選択すると、VICS 情報画面が表示されます。
- 直前の地図の画面に戻るときは、リモコンの②を押すか、 にタッチします。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスクを使用時はハイウェイ情報画面は表示できません。

## ガイド方法の設定

ナビゲーション中のガイドの方法を設定できます。

### ●拡大図表示

する：ガイドポイントに近づいたときに、ガイドポイントの形状の詳細な地図を表示します。  
しない：ガイドポイントに近づいても拡大図は表示しません。

### ●オートリルート

する：自車位置がルートからはずれると、自動的に復帰ルートが探索されます。  
しない：ルートから離れても、自動的に復帰ルート探索は行われません。

### ●距離時刻表示

する：目的地または次の立寄地までの距離と到着予想時刻を表示します。  
しない：距離と到着予想時刻を表示しません。

### ●目的対象

目的地：「距離時刻表示」の対象を目的地に設定します。  
立寄地：「距離時刻表示」の対象を立寄地に設定します。

### ●目的地拡大

する：目的地に近づいたときに、自動的に表示できる最も拡大した地図に切り替えます。  
しない：目的地に近づいても切り替えません。

## ガイド方法を設定する

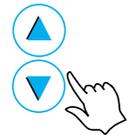
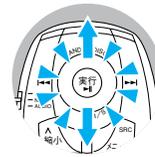


メニューを表示させます。

1 **機能設定** を選択します。

2 **ガイド設定** を選択します。

3 各項目を選択します。  
同じ項目を選択するごとに「する」と「しない」が交互に切り替わります。



4 **OK** を選択します。  
機能設定メニューに戻ります。

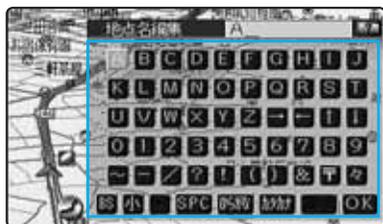


# 文字の入力

登録した地点、保存したコースに名前を付けることができます。

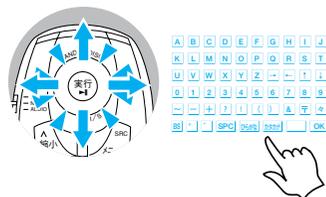
## 文字を入力する

### ■アルファベット



1 **英数** を選択します。

2 文字を選択します。



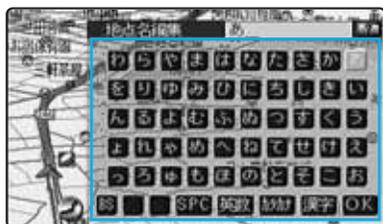
3 **OK** を選択します。



- 新しく名前を入力するときは、**[BS]** を選択して現在表示している文字を消去してから行ってください。
- スペース(1文字分の空白)を入力するときは**[SPC]**を選択します。
- リモコンのテンキーで入力することもできます。テンキーにアルファベットが割り付けられています。たとえば、「K」を入力する場合は**⑤**を3回押します(J→j→K・・・と切り替わります)。
- 文字をまちがえた場合は**[BS]**(リモコンでは**④**ボタン)を選択します。右端の1文字が消去されません。

使いこなす

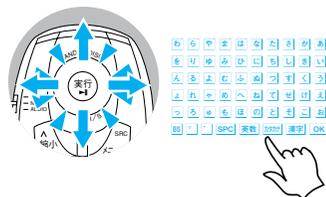
### ■カタカナまたはひらがな



1 **カタカナ** または **ひらがな** を選択します。

**カタカナ** は、アルファベットまたはひらがなが表示されているときに選択できます。

**ひらがな** は、アルファベットまたはカタカナが表示されているときに選択できます。



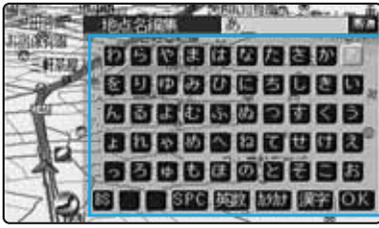
2 文字を選択します。

3 **OK** を選択します。

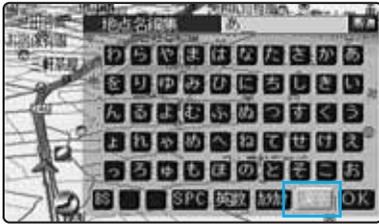
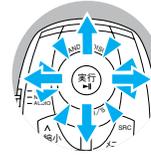


- 濁音(「だ」など)を入力するときは、まず通常の文字(た)を入力し、続いて濁点(゜)を入力します。
- 半濁音(「ば」など)も上記と同様の操作で入力できます。
- スペースを入力するときは**[SPC]**を選択します。
- リモコンのテンキーで入力することもできます。テンキーにかなが割り付けられています。たとえば、「こ(コ)」を入力する場合は**②**を5回押します(か→き→く→け→こと切り替わります)。
- 文字をまちがえた場合は**[BS]**(リモコンでは**④**ボタン)を選択します。右端の1文字が消去されません。

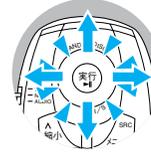
■ 漢字



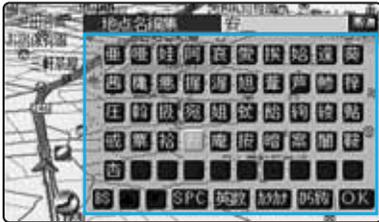
**1** 入力する漢字の音読みの先頭の文字をひらがなで入力します。



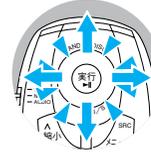
**2** **漢字** を選択します。



漢字



**3** 文字を選択します。  
▲ ▼ が白色の場合は選択するとページが切り替わります。



**4** **OK** を選択します。

メモ

- 読みはリモコンのテンキーで入力することもできます。
- スペースを入力するときは **[SPC]** を選択します。
- 文字をまちがえた場合は **[BS]** (リモコンでは **(#)** ボタン) を選択します。右端の1文字が消去されません。

使いこなす

# MC-1000 追加機能

コミュニケーションユニットMC-1000（別売品）を本機に接続すると、MC-1000に付属の取扱説明書にはない、登録メニュースイッチがMONET情報画面中に追加表示されて、施設などの地点登録が簡単にできるようになります。

さらに、ボイスコントロールユニットVR-1000（別売品）も接続すると、MONET情報やMONETで受けた電子メールの音声読み上げが可能となります。

## 登録メニュースイッチの追加

情報リスト画面、または情報・メール画面のスイッチボードに登録メニュースイッチが追加されます。スイッチを選択すると、情報表示している施設などを、目的地や立寄地として地点登録できます。また、位置情報が含まれている電子メールは、その位置情報をもとに地点の登録ができます。

通信 — MONET

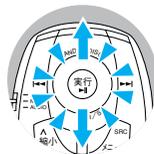
### 情報から地点を登録する



メニューで **通信 — MONET** を選択してMONETメニュー画面を表示させます。



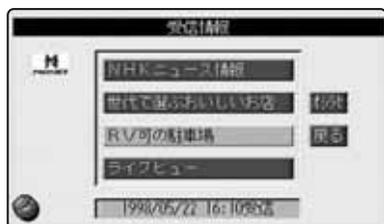
- 1** MONETメニューから登録する情報を選択し、受信情報画面（**新規リクエスト**・**登録リクエスト**・**前回情報**）を選択した場合、または保存情報画面（**保存情報**）を選択した場合を表示させます。



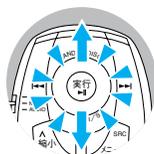
前回情報  
保存情報  
保存メール



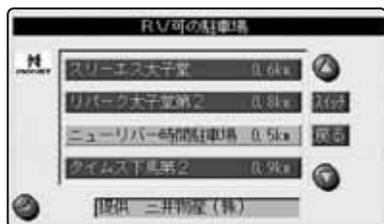
それぞれの詳しい操作手順については、MC-1000に付属の取扱説明書をご覧ください。保存情報画面を表示させたときは手順**3**へ進みます。



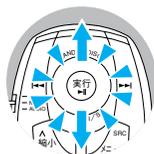
- 2** 登録する情報の項目を選択します。情報リスト画面が表示されます。



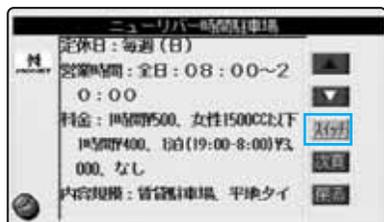
XXXXXXXXXX



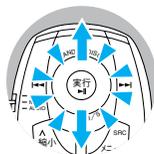
- 3** 登録したい情報を選択します。情報画面が表示されます。



XXXXXXXXXX

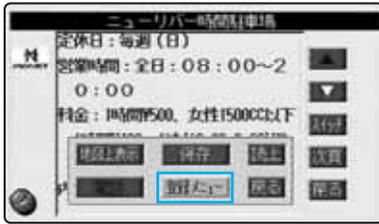


- 4** **スイッチ** を選択します。スイッチボードが表示されます。

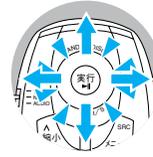


スイッチ





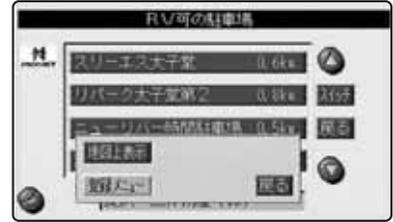
- 5** **登録メニュー**を選択します。登録メニュー画面が表示され、選択した施設などを登録できます。登録方法の詳細な操作は、GZ-1000に付属の取扱説明書をご覧ください。



登録メニュー



**メモ** 現在地または検索したい地点に一番近い施設などを地点登録したいときは、情報リスト画面で地点登録することができます。手順2で表示させた情報リスト画面の「スイッチ」を選択するとスイッチボードが表示されるので「登録メニュー」を選択します。施設などを地点登録できます。



通信 — MONET

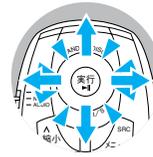
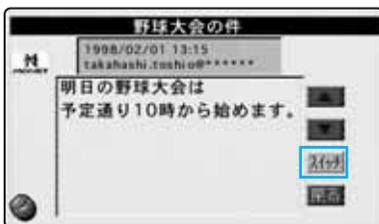
## 電子メールの地点を登録する



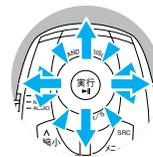
メニューで **通信 — MONET** を選択して MONET メニュー画面を表示させます。



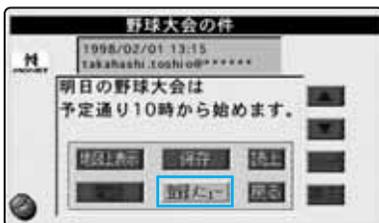
- 1** MONETメニューから地点登録するメールを選択し、メール画面を表示させます。詳しい操作手順については、MC-1000に付属の取扱説明書をご覧ください。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

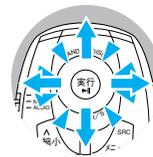
- 2** **スイッチ**を選択します。スイッチボードが表示されます。



スイッチ



- 3** **登録メニュー**を選択します。登録メニュー画面が表示され、表示しているメールの位置情報をもとに地点を登録できます。登録方法の詳細な操作は、本書の48ページをご覧ください。



登録メニュー



**メモ** 「登録メニュー」で地点登録することができる電子メールは位置情報が含まれているものだけです。

## 読上げ機能を設定する

別売品のボイスコントロールユニットVR-1000を使用すると、MONETからの情報や受信した電子メールを読上げさせることができます。

通信 — MONET

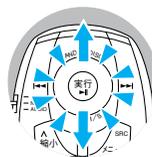
### 自動読上げを設定する



メニューで **通信 — MONET** を選択してMONETメニュー画面を表示させます。



- 1** **自動読上げ** を選択します。選択するごとに、自動読上げ ● する / ○ しないが交互に切り替わります。



○ 自動読上げ



- 自動読上げは、新しい情報やメールをリクエストしてその情報を見るときに働きます。
- 前回の情報、または保存した情報を見たときは、自動読上げをする“●”に設定しても自動読上げされません。読上げをさせたいときは、手動読上げを使用してください。詳しくは、「手動読上げを使用する」をご覧ください。
- 自動読上げは、画面表示に連動して表示されている内容に対して一度だけ行われます。
- 途中で読上げを中止する場合は、情報画面の **戻る** を選択すると自動読上げを中止します。
- 読上げ中に、**次頁**、**戻る** または **実行** を選択すると、自動読上げは中止され画面が切り替わります。

通信 — MONET

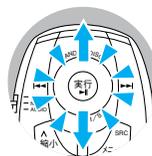
### 手動読上げを使用する



メニューで **通信 — MONET** を選択してMONETメニュー画面を表示させます。

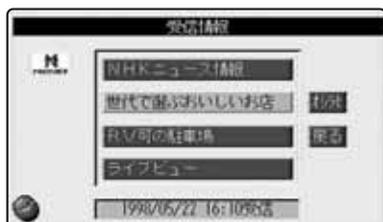


- 1** **前回情報** または **保存情報** を選択します。受信情報または保存情報画面が表示されます。

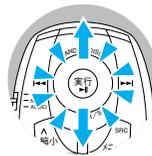


前回情報

保存情報



- 2** 表示する情報の項目を選択します。情報リスト画面が表示されます。

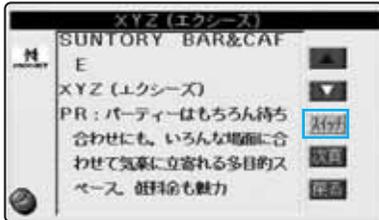
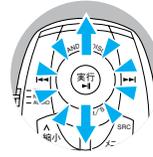


XXXXXXXXXX

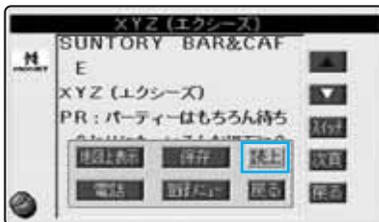
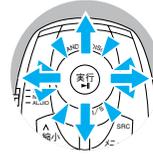




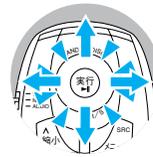
- 3** 表示する情報を選択します。  
情報画面が表示されます。



- 4** **スイッチ** を選択します。  
スイッチボードが表示されます。



- 5** **読上** を選択します。  
現在表示中の情報の読上げを  
始めます。



999  
メモ

- 表示している情報を最後まで読上げると、手動読上げは自動的に終了します。
- 「自動読上げを設定する」をしない“○”に設定しているときでも新しい情報の手動読上げをさせることができます。情報を表示中に手順4以降の操作を行うと、情報の読上げが始まります。
- 電子メールを手動読上げさせることはできません。

# 別売品の地区詳細版地図ディスクについて

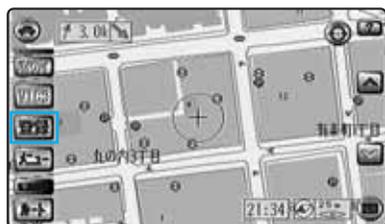
地区詳細版地図ディスク（KNA-VD6110～6170）を使用すると、主要都市の詳細地図（住宅）が表示可能になります。また、施設内のテナントも表示することができます。



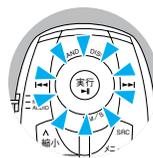
## 建物内のテナントを見る

使いこなす

**1** 建物にカーソルを合わせます。

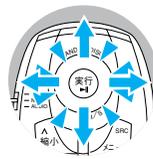


**2** **実行**を押すか、メニューバーの**登録**にタッチします。登録メニューが表示されます。



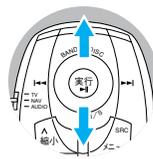
登録

**3** **情報表示**を選択します。テナントリストが表示されます。



情報表示

ジョイスティックを上下に動かすか、**▲**または**▼**にタッチすると、リストをスクロールできます。



▲

▼

**5** **戻る**を選択します。登録メニューに戻ります。



メモ

- **情報表示**がグレーの場合は、テナント情報が登録されていません。
- 高速走行により詳細地図が表示できない場合は、自動的に地図を縮小します。

# VICS

本機に別売品のFM多重チューナーVF-100や3メディアVICSユニットVF-B200を接続すると、FM多重放送によるVICS情報や一般FM文字多重放送(「見えるラジオ」など)を見ることができます。VF-B200を接続している場合、ビーコンによるVICS情報も見ることができます。ビーコンで受信したVICS情報は、画面上で見るだけでなく、ルート探索に活かすこともできます。

メモ

一般FM多重放送での図形は表示できません。

## VICSの表示設定

VICS情報の表示方法などを設定できます。

### ●渋滞情報表示

する：渋滞・混雑している道路に情報を表示します。

しない：表示しません。

### ●空き情報表示

する：空いている道路に情報を表示します。

しない：表示しません。

### ●規制情報表示(レベル3のみ)

する：臨時的通行規制情報のある場所にマークを表示します。

しない：規制情報を受信しても表示しません。

### ●駐車場表示(レベル3のみ)

する：駐車場情報のある場所にマークを表示します。

しない：駐車場情報を表示しません。

### ●レベル1割込み(3メディアVICSユニットVF-B200接続時のみ)

する：ビーコンレベル1情報を受信したときに画面に表示します。

しない：情報を受信しても表示しません。

### ●レベル2割込み(3メディアVICSユニットVF-B200接続時のみ)

する：ビーコンレベル2情報を受信したときに画面に表示します。

しない：情報を受信しても表示しません。

### ●割込み表示時間

10 秒：ビーコンレベル1または2情報を受信すると画面に10秒間割り込み表示します。

20 秒：ビーコンレベル1または2情報を受信すると画面に20秒間割り込み表示します。

30 秒：ビーコンレベル1または2情報を受信すると画面に30秒間割り込み表示します。

### ●モニター割込み(3メディアVICSユニットVF-B200接続時のみ)

する：ナビゲーション以外の画面が表示されていても、ビーコン情報を受信すると画面表示されます。

しない：ナビゲーション以外の画面が表示されているときには、ビーコン情報を受信しても表示しません。

### ●ARGS(付属地図ディスクまたは別売品地区詳細版地図ディスク使用時)

する：次々に受信するVICS情報を元に、ガイド中のルートを探検しなおすように設定します。

しない：ARGS機能を使いません。

### ●VICS考慮探索(付属地図ディスクまたは別売品地区詳細版地図ディスク使用時)

する：ルート探索を開始した時点までに受信したVICSの渋滞情報や規制情報を考慮してルートを探検します。

しない：ルート探索時にVICS情報を考慮しません。

メモ

●モニター割り込み表示機能は、タッチパネルモニター LZ-M700、LZ-770W、LZ-700W、LCD-M66 (LCD-M60)、DPV990 (DPV900)、VZ907を接続しているときに使用できます。

ナビゲーション以外の画面に割り込んだ画面をすぐに消したいときは元の画面になるまでTV/NAVボタンを押してください。

●『レベル1割込み』と『レベル2割込み』機能を両方とも「する」に設定した場合は、緊急(レベル1)→図形(レベル2)→注意・警戒(レベル1)→文字(レベル1)の優先順位で表示します。

●ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は空き情報表示、ARGS、およびVICS考慮探索機能は使用できません。



#### ARGS機能について

ARGSはVICS情報に基づいて、所要時間が短くなるようにルートを手動的に変更する機能です。ルートによる再探索やルートからはずれたときのオートリルートではVICS情報は考慮されません。

## VICS情報の表示方法を設定する



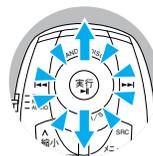
メニューを表示させます。



**1** **機能設定**を選択します。

**2** **VICS設定**を選択します。

**3** 各項目を選択します。  
 同じ項目を選択するごとに「する」と「しない」が交互に切り替わります。  
 ジョイスティックを前後に動かすか、▲または▼にタッチすると、設定する項目をスクロールできます。



**4** **OK**を選択します。  
 機能設定メニューに戻ります。

## VICS情報のリアルタイム表示

レベル3のVICS情報は地図上に表示されます。

レベル2およびレベル1のVICS情報は画面のウィンドウの中に表示されます。

### レベル3情報を受信すると

800mスケール以下の地図では渋滞情報表示、規制情報表示、および駐車場情報表示を行うように設定しておく、VICS情報を受信しているときに次のように表示されます。(詳細地図(住宅地図)上は除きます。)



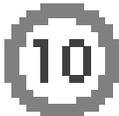
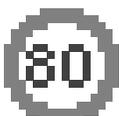
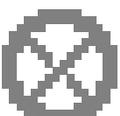
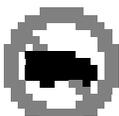
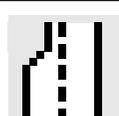
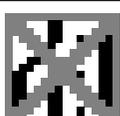
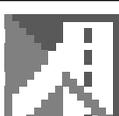
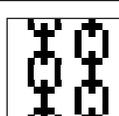
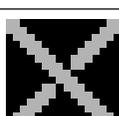
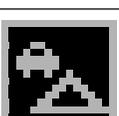
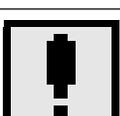
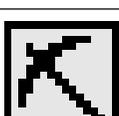
- 渋滞・混雑情報（赤色：渋滞、橙色：混雑、緑色：渋滞・混雑なし）
- 規制情報
- 主要表示メディアおよび情報時刻
- VICSモニター地点の状態

### メモ

- レベル3の情報は、渋滞情報、規制情報、駐車場情報を表示するように設定しているときに表示されます。詳しくは69ページをご覧ください。
- 長距離のドライブにお出かけの場合は、VICS情報の放送を自動追尾するように設定しておく、現在地で受信できるFM多重放送の放送局が自動的に選局されますので便利です。詳しくは81ページをご覧ください。
- 深夜の放送休止時間には、FM多重放送によるVICS情報は受信できません。
- VICSモニター機能を使用するためには、VICSモニター地点を登録し(76ページ)、その地点をモニターする地点に設定(78ページ)し、そしてその地点のVICS情報が受信できる必要があります。この状態で、設定したVICSモニター地点のVICS情報が表示されます。
- 規制情報、駐車場情報のマークにカーソル(+)を合わせて、(実行)を押すか[登録]にタッチすると登録画面が表示され、[情報表示]を選択すると情報が表示されます。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスクを使用しているときは、渋滞情報が道路と重なって表示されます。



●規制情報および駐車場情報に使用されるマークは次のとおりです。

速度制限10Km/h	速度制限20Km/h	速度制限30Km/h	速度制限40Km/h	速度制限50Km/h	速度制限60Km/h
					
速度制限70Km/h	速度制限80Km/h	徐行	通行止め/閉鎖	進入禁止	大型通行止め
					
車線規制	片側交互通行	対面通行	入り口閉鎖	入り口制限	チェーン規制
					
凍結	事故	故障車	路上障害	工事	作業
					
駐車場満車	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場不明	駐車場閉	
					
背景色赤	背景色橙	背景色青	背景色黒		

オプションを使う



VICSセンターによって、マークの色などは変更される場合があります。

## ビーコンからレベル2、レベル1情報を受信すると

3メディアVICSユニットVF-B200接続時で、レベル2情報またはレベル1情報を割り込み表示するように設定しておく、ビーコンでVICS情報を受信したときに次のように表示されます。



情報が複数ページある場合は、▶を選択すると次ページ、◀を選択すると前ページが表示されます。表示する時間は割り込み表示時間で設定できます。設定した時間が経過すると、直前の地図の画面に戻ります。



- 割り込み表示時間の設定は71ページをご覧ください。お買い上げ時は30秒に設定されています。
- モニター割り込み表示するように設定しておく、ナビゲーションシステム以外の画面を表示しているときでも、VICS情報を受信したときには自動的にナビゲーションシステムの画面に切り換ってビーコンのレベル1、レベル2情報が表示されます。詳しくは71ページをご覧ください。
- ナビゲーション以外の画面に割り込んだVICS情報をすぐに消したいときや、設定した時間が経過する前に元の画面に戻りたいときはリモコンの(⏮)を押すか情報にタッチしてください。

## 緊急情報または注意警戒情報を受信すると

緊急情報または注意警戒情報を受信すると、情報が画面に表示されます。



- モニター割り込み表示を「しない」に設定しても、緊急情報を受信するとモニター割り込み表示は機能します。

## VICS モニターの設定

本機では、3か所までのVICSモニター地点を登録し、登録した各地点の渋滞情報を画面に常時表示しておくことができます。



● モニター地点①の混雑状況

● モニター地点②の混雑状況

● モニター地点③の混雑状況

緑：空いている 黄：混雑している 赤：渋滞している  
黒：不明または情報なし



- 現在のFM受信エリア外のVICSモニター地点は情報表示できません。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスクではVICSモニターの設定はできません。

### VICSモニター地点を登録する

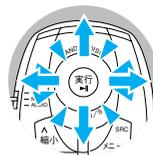
オプションを使う

#### 1 登録するVICSモニター地点を選択します。

カーソル(+)を登録するVICSモニター地点に合わせて、(実行)を押すか、メニューバーの「登録」を選択します。



#### 2 「VICSモニター」を選択します。

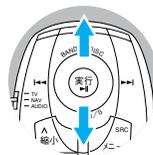


VICSモニター



#### 3 方向を選択します。

ジョイスティックを上下に動かすか、(▲)または(▼)にタッチすると、方向が変わります。(道路方向と多少異なる場合があります。)



#### 4 「OK」を選択します。

メッセージが表示されたのち、直前の地図の画面に戻ります。



VICSモニター設定中の地図の向きは、現在地の地図の向きと同じになります。

## VICSモニター地点のリストを見る



メニューを表示させます。

**1** **編集** を選択します。



**2** **VICSモニター** を選択します。  
登録されているVICSモニター地点のリストが表示されます。



VICSモニター



**メモ** **戻る** を選択すると、編集メニューに戻ります。

編集 — VICSモニター

## VICSモニター地点の地図を見る

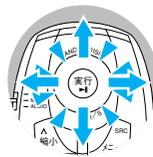


メニューで **編集** - **VICSモニター** を選択して、VICSモニター画面を表示させます。

**1** 地図を表示するVICSモニター地点を選択します。



**2** **地図** を選択します。  
選択したVICSモニター地点を中心とする地図が表示されます。



地図



## VICSモニター地点に名前をつける

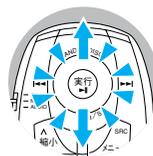


メニューで **編集** - **VICSモニター** を選択して、VICSモニター画面を表示させます。

- 1 名前をつけるVICSモニター地点を選択します。



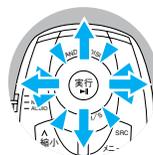
- 2 **モニター名編集** を選択します。



モニター名編集



- 3 名前を入力します。



- 4 **OK** を選択します。  
VICSモニター編集画面に戻ります。



文字の入力方法については『文字の入力』(64ページ)を参照してください。

## 地図上に表示するVICSモニター地点情報を設定する

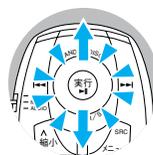


メニューで **編集** - **VICSモニター** を選択して、VICSモニター画面を表示させます。

- 1 地図に表示するVICSモニター地点を選択します。



- 2 **モニター表示** を選択します。  
選択するごとに●表示/○非表示が交互に切り替わります。



●モニター表示



- 3 **戻る** を選択します。  
VICSモニター編集画面に戻ります。

## VICSモニター地点を消去する

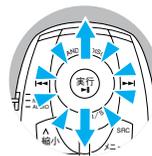


メニューで **編集** - **VICSモニター** を選択して、VICSモニター画面を表示させます。

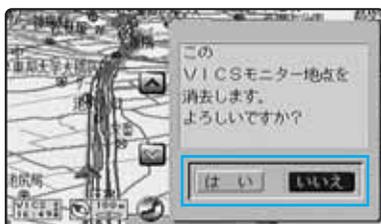
- 1** 消去するVICSモニター地点  
を選択します。



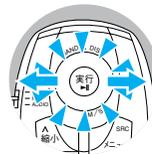
- 2** **モニター消去** を選択しま  
す。



モニター消去



- 3** 消去を確認します。  
消去するときには **はい**、消去  
しないときには **いいえ** を選択  
します。



はい いいえ



消去したVICSモニター地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、十分に確認して行ってください。

# VICS 情報や文字多重放送の表示

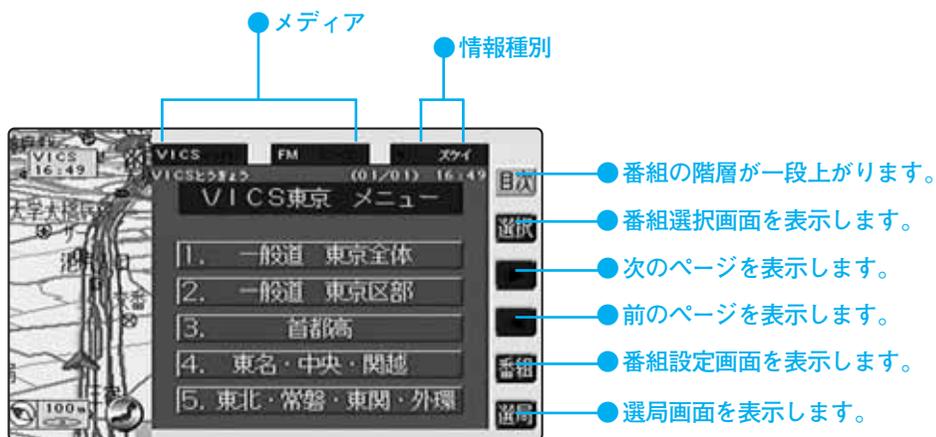
レベル1/レベル2のVICS情報やFM文字多重放送の内容を表示できます。

## VICS情報や文字多重放送を見る

- 1** VICS画面を表示します。  
リモコンの **VICS** を押すか、メニューバーの **VICS** を選択して、VICS画面を表示します。



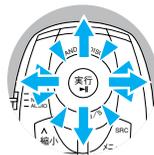
VICS



オプションを使う



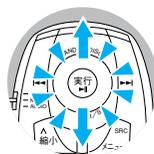
- 2** 番組を選択します。  
リモコンで操作するときは、直接テンキーで番組を選択します。タッチパネルで操作するときは **選択** を選択してからテンキーで番組を選択します。



選択



- 3** ◀ または ▶ で表示するページを選択します。  
また、**目次** で目次を表示します。



▶

◀



メモ

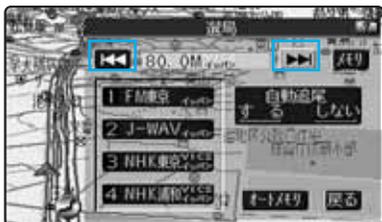
- 初めて使うときや、システムを変更した後は、選局(79ページ)と番組の選択(81ページ)を行ってください。
- 2回目以降にVICS画面を表示したときには、前回見ていた番組の同じページが表示されます。前回見たとき以降に情報が更新された場合には、最新の情報が表示されます。
- 自動追尾機能(79ページ)により受信する放送局が変わったとき、前回見ていた番組が放送されていないため画面が表示されない場合があります。このようなときは、目次まで戻り番組を選択し直してください。
- 1時間以上経過した情報は表示されません。
- VICS情報表示中は、ルートガイドの拡大図やJET Guideは表示されません。

## 選局する

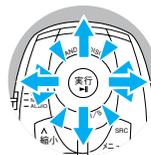


リモコンの **VICS** を押すか、メニューバーの **VICS** を選択して、VICS画面を表示させます。

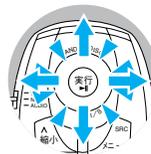
**1** **選局** を選択します。



**2** チューニングします。  
**◀▶** または **▶▶** を選択してチューニングします。



**3** **戻る** を選択します。  
 VICS画面に戻ります。



## 自動追尾で選局する

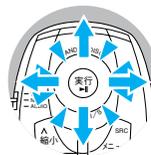


リモコンの **MOF VICS** を押すか、メニューバーの **VICS** を選択して、VICS画面を表示させます。

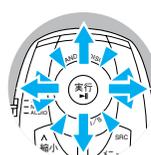
**1** **選局** を選択します。



**2** **自動追尾** を選択します。  
 同じ項目を選択するごとに「する」と「しない」に設定が切り替わります。



**3** **戻る** を選択します。  
 VICS画面に戻ります。



## メモ

- 自動追尾機能は放送局を選局してから、『自動追尾』を「する」に設定してください。現在地に応じて受信できる系列の放送局を自動的に探します。
- 自動追尾機能は、現在地に応じて受信できる放送局を自動的に選局してVICS情報を受信しますので、長距離のドライブ時などに便利です。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスク使用時は自動追尾機能は動作しません。

## 手でプリセットボタンに放送局を登録する

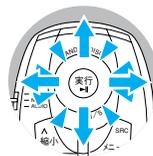


選局画面を表示させます。

**1** 選局します。



**2** **メモリ** を選択します。

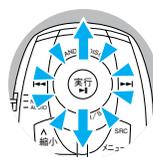


メモリ



**3** 登録先のプリセットボタンを選択します。

チューニングした放送局名または周波数がプリセットボタンに表示されます。



1 \*\*\*\*\*



● 4局までプリセットボタンに登録できます。

● プリセットボタンに登録した放送局は、プリセットボタンを選択するだけで選局できます。

## 自動的にプリセットボタンに登録する



選局画面を表示させます。

**1** **オートメモリ** を選択します。

現在地で受信できるFM多重放送局がプリセットボタンに登録され、登録された放送局名または周波数がプリセットボタンに表示されます。



オートメモリ



**注意** **オートメモリ** を選択すると、それまでのプリセットボタンの登録はすべて消去されます。



● プリセットボタンに登録されるのは4局までです。FM多重放送を行っている放送局が4局以上ある場合には、周波数の低いほうから4局が登録されます。

● プリセットボタンに登録した放送局は、プリセットボタンを選択するだけで選局できます。

## 番組を設定する



リモコンの **VICS** を押すか、メニューバーの **VICS** を選択して、VICS画面を表示させます。

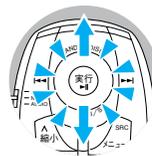
### 1 **番組** を選択します。



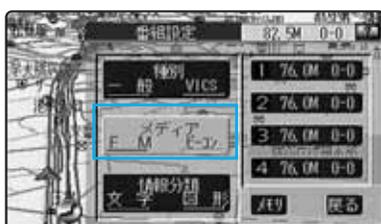
### 2 番組の種類を選択します。

**種別** を選択して番組の種類を設定します。

VICS 情報を見るときは「VICS」、それ以外の文字放送を見るときは「一般」を選択します。



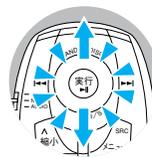
種別  
一般 VICS



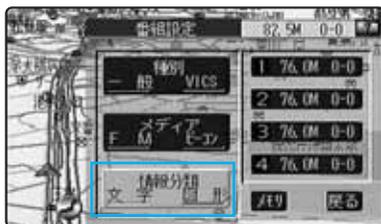
### 3 メディアを選択します。

**種別** で「VICS」を選択した場合のみ、VICS 情報の放送メディアを設定します。

FM 多重放送の情報を見る場合は「FM」、光・電波ビーコンの情報を見る場合は「ビーコン」を選択します。



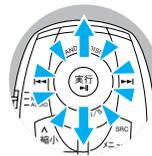
メディア  
F M ビーコン



### 4 VICS 情報の分類を選択します。

**種別** で「VICS」を選択した場合のみ、VICS 情報の分類を設定します。

文字情報(レベル1)を見る場合は「文字」、模式図情報を見る場合は「図形」を選択します。

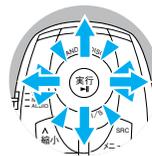


情報分類  
文字 図形



### 5 **戻る** を選択します。

VICS 画面に戻ります。



戻る



メモ

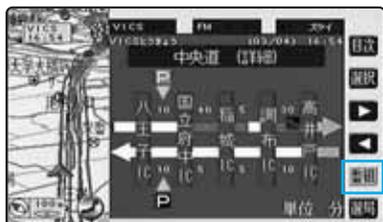
- **メディア** の「ビーコン」は、3メディアVICSユニットVF-B200が接続されている場合のみ選択できます。
- **種別** で「一般」を選択しているときは、**メディア** は「FM」を選択してください。「ビーコン」の情報は、**種別** で「VICS」を選択するときだけ見ることができます。

## 番組をプリセットボタンに登録する

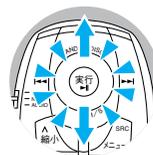


番組設定画面を表示させます。

**1** 登録する番組を選択します。

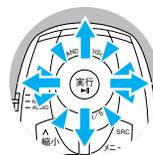
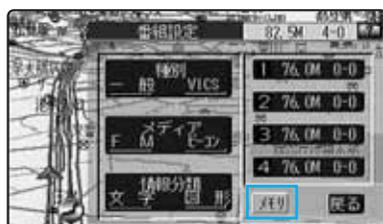


**2** **番組** を選択します。



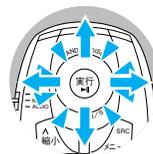
番組

**3** **メモリ** を選択します。



メモリ

**4** 登録先のプリセットボタンを選択します。



1XXXXXXXXXX

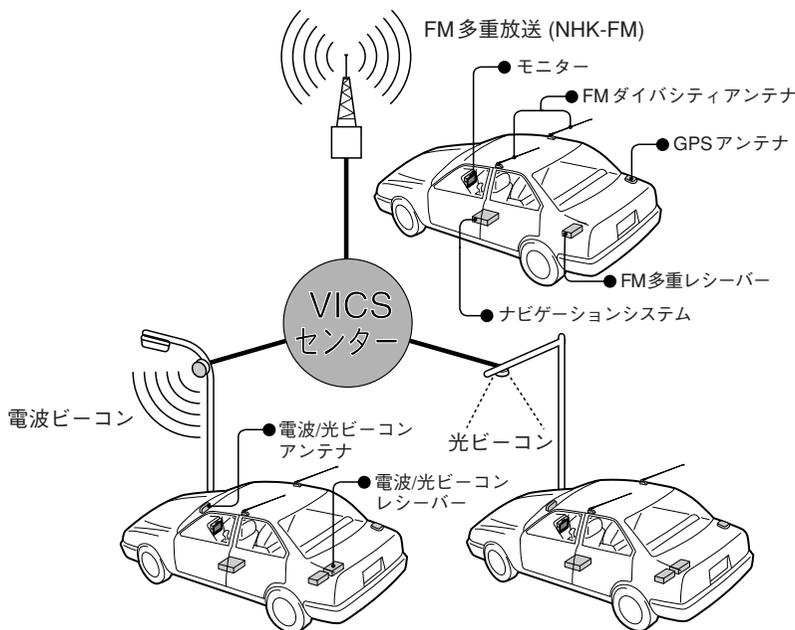
オプションを使う

メモ

- 4つの番組までプリセットボタンに登録できます。
- プリセットボタンに登録した番組は、プリセットボタンを選択するだけで選択できます。
- 番組のプリセットは階層をメモリーしています。違う放送局や同じ放送局が番組の改編を行った場合はプリセットした情報とは異なることがあります。

## VICSとは

VICS (Vehicle Information and Communication System)とは、財団法人道路交通情報通信システムセンターが円滑かつ安全な道路交通などのために、交通情報をリアルタイムで走行中の車両に提供するためのシステムです。



### 提供される情報の内容

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、旅行時間情報、駐車場情報、その他（緊急放送）の情報が提供されます。これにより、運転者は一番早く目的地に到着するための道路を発見したり、空いている道路を選んだりすることができます。

### 提供される情報レベル

VICS情報は次の3つのレベルで提供されます。

- レベル1（文字表示）：情報が文字で表示されます。
- レベル2（簡易図形表示）：模式された道路地図上で表示されます。
- レベル3（デジタル地図）：ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

### VICS情報ご利用上の注意

- 提供される情報はあくまで参考情報です。実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報は最新でない場合があります。実際の交通規制に従ってください。
- 安全のため走行中は操作できない機能があります。
- FM多重放送ご利用時のご注意
  - 受信困難な場合：サービスエリア外やトンネル内、外来雑音、マルチパス等により電波環境が良くないとき。
  - 情報蓄積時間：情報は一定周期で更新しています。更新中は情報を蓄積するまで、時間がかかります。（情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります。）
  - 夜間休止：放送サービス時間外はご利用になれません。
- 電波ビーコンご利用時のご注意
  - 受信困難な場合：通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くないとき。ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがあるとき。法定速度以上で走行しているとき。
  - 電波漏れ：高速道路の高架下で電波ビーコンが受かる場合があります。
- 光ビーコンご利用時のご注意
  - 受信困難な場合：通信エリア外や雨、雪などの影響、大型車並走等で光がとどきにくいとき。ビーコンアンテナ付近に光をさえぎるものがあるときアンテナ受光面が汚れているとき、直射日光が当たっているとき。法定速度以上で走行しているとき。

## FM多重VICSサービス運営時間（ビーコンVICSサービス運営時間は24時間）

毎日 朝6：00～翌朝1：00

### VICSサービスの問い合わせ先

VICSサービスに関する問い合わせ先は、内容により次のようにさせていただきますのでご了承ください。

- VICSの概念やサービスエリア、今後の計画に関する問い合わせ
- 文字情報（レベル1）/簡易図形表示（レベル2）の情報表示に関する問い合わせ

（財）VICSセンター（東京センター）

- ・電話受付 9：30～17：45（土曜、日曜、祝祭日は除く）  
番号 (東京) 03-3592-2033  
(大阪) 06-209-2033
- ・FAX受付 24時間  
番号 03-3592-5494

- 当社VICS関連商品の機能や使用方法の問い合わせ
- サービスエリア内の受信可否の問い合わせ
- 地図表示（レベル3）の情報表示に関する問い合わせ

（株）ケンウッド・お客様相談室

- 東京
  - ・電話受付 9：30～17：30  
番号 03-3477-5335
- 大阪
  - ・電話受付 9：30～17：30  
番号 06-357-5335  
(土曜、日曜、祝祭日および当社休日は除く)

### FM多重VICS局一覧（'97年10月現在）

局名	周波数
VICS東京（キー局）	82.5MHz
VICS新島（中継局）	77.5MHz
VICS八丈（中継局）	82.9MHz
VICS横浜（キー局）	81.9MHz
VICS小田原（中継局）	83.5MHz
VICS浦和（キー局）	85.1MHz
VICS秩父（中継局）	83.5MHz

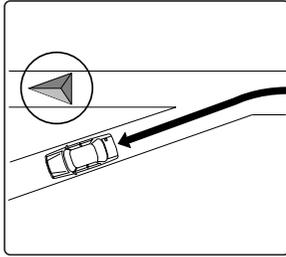
局名	周波数
VICS千葉（キー局）	80.7MHz
VICS勝浦（中継局）	83.7MHz
VICS銚子（中継局）	83.9MHz
VICS館山（中継局）	79.0MHz
VICS白浜（中継局）	82.9MHz
VICS長野（キー局）	84.0MHz
VICS名古屋（キー局）	82.5MHz
VICS豊橋（中継局）	85.3MHz
VICS設楽（中継局）	83.3MHz
VICS大阪（キー局）	88.1MHz
VICS中能勢（中継局）	82.5MHz
VICS神戸（キー局）	86.5MHz
VICS姫路（中継局）	84.2MHz
VICS京都（キー局）	82.8MHz

## Q ナビゲーションシステムの測位誤差はどの程度ですか？

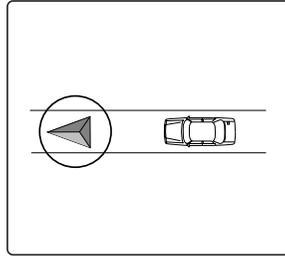
**A** 4個以上GPS衛星からの電波を受信できて三次元測位ができる状態で30～200mです。3個のGPS衛星からの電波しか受信できない場合は、最後に三次元測位できたときの高度を元に測位しますので、4つ以上GPS衛星からの電波を受信できるときよりも誤差は大きくなります。2個以下のGPS衛星からの電波しか受信できない場合には測位できません。

## Q 自車マークが道路からはずれている！

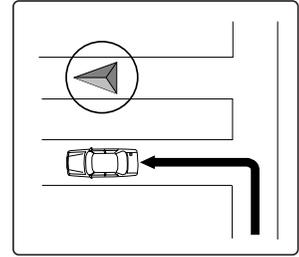
**A** 次のような場合には、自車マークが走行している道路や方向からはずれる場合があります。



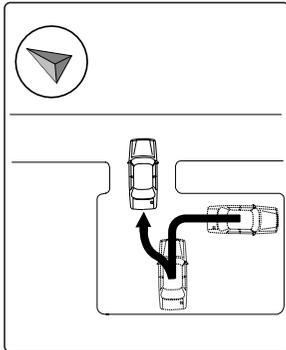
● Y字路を曲がったときに、他方の道路に表示される場合があります。



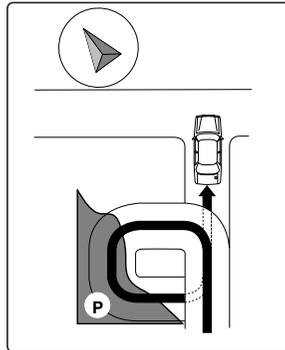
● 雪道や砂利道などでタイヤがスリップしたときに、実際よりも進んでしまう場合があります。



● 狭い間隔で2本の道路が平行している場所では、他方の道路に表示される場合があります。



● 駐車場などで車両をバックさせてすぐに発信したときに、違う場所に表示される場合があります。



● 屋内駐車場などから出たときに、違う場所に表示される場合があります。

● ナビゲーションシステムの電源をオンにしてすぐに発進したときに、実際と違う場所に表示される場合があります。

● ループ上の道路、カーブが連続する道路、半径の小さなヘアピンカーブを曲がったとき、道路からはずれる場合があります。

● ナビゲーションシステムの電源がオフの状態で移動したあとでは、最後に測位された位置に表示される場合があります。

**Q** ルートがUターンや迂回している!

**A** 立寄地などが道路の右側に設定されていませんか？センターラインや中央分離体のある道路は、上下線は異なる道路として認識されています。このため、立寄り点が道路の右側に設定されている場合には、Uターンしたり、迂回したり、あるいは高速道路をいったん出て再び入るようなルートが探索されてしまいます。

**Q** 一般道(または高速道路)上にいるのに、高速道路(または一般道)からのルートが探索された!

**A** 一般道と高速道路などが高架などで重なっている場所などでルート探索を行った場合に発生することがあります。再度探索してください。出発点の道路種別が切り替わります。

**Q** 高速道路や有料道路を使いたいときは?

**A** 探索条件の「**有料道使用**」を「する」に設定してください。それでも使用されない場合は、高速道路や有料道路の入口に立寄地を設定してください。

**Q** 細い道が表示されない!

**A** 幅員5.5m未満の道路は、走行中には表示されません。停車すると表示されます。

**Q** メニューを表示できない!

**A** 走行中は表示されません。停車すると表示できます。

**Q** レベル3のVICS情報が地図に表示されない!

- A**
- 設定メニューの「**機能設定**」-「**VICS機能**」-「**渋滞情報表示**」、**規制情報表示**、または「**駐車場情報表示**」を「する」に設定してください。  
VICS情報を放送しているVICS多重放送局(NHK-FM)を選局してください。
  - 選局画面で「**自動追尾**」を「する」に設定しておく、現在地で受信できるVICS多重放送局が自動的に選局されて常にVICS情報を受信できるようになります。

**Q** レベル1またはレベル2のVICS情報が割り込み表示されない!

- A**
- 3メディアVICSユニットVF-B200が接続されていますか？  
割り込み表示されるVICS情報は、光・電波ビーコンで受信したもののみです。FM多重放送で受信したレベル1およびレベル2のVICS情報はVICS画面で見てください。
  - 表示するように設定されていますか？  
3メディアVICSユニットVF-B200が接続されている場合は、設定メニューの「**機能設定**」-「**VICS機能**」-「**レベル1割り込み**」または「**レベル2割り込み**」を「する」に設定してください。
  - 他の画面が表示されているときでも割り込み表示させたい場合は、同様に、設定メニューの「**機能設定**」-「**VICS機能**」-「**モニター割り込み**」を「する」に設定してください。

**Q** 使用できる地図ディスクは?

**A** 付属の地図ディスク、別売品の地区詳細版地図ディスク(KNA-VD6110~6170)、およびナビ研S規格準拠の地図ディスクです。(ナビ研S規格準拠の地図ディスクでは一部使用できない機能があります。)

**Q** 立寄地のある道路がルートとして探索されない!

**A** 立寄地があっても、その道路が探索対象道路以外の道路(幅員5.5m未満の道路)はルートになりません。近くを通る探索対象道路がルートになります。

**Q** ボイスガイドされない交差点がある!

**A** 地図データの関係上ガイドポイントが設定されない交差点もあります。ルート表示を参考にして通過してください。

**Q** FM多重放送のVICS情報を受信できない!

**A**

- トンネルの中や深い谷間など、FM放送の電波が届きにくい場所ではVICS情報を受信できません。
- 選局または番組の選択は合っていますか?  
選局画面や番組設定画面でVICS情報を選択してください。
- NHK-FMの放送休止時間(深夜帯など)中はVICS情報は受信できません。  
1時間以上経過した情報は表示されません。

**Q** 現在の場所で受信できるVICS情報の周波数がわからない!

**A** VICS放送局一覧表(86ページ)をご覧ください。

**Q** ビーコンのVICS情報を受信できない!

**A** ビーコンによるVICS情報は、サービスエリアが限られています。



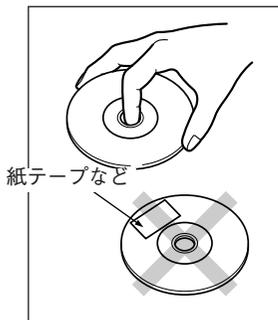
- データ処理容量により、ナビゲーションシステムを操作したときの画面切り換えの動作に時間がかかったり、交差点拡大図が表示されないことなどがあります。
- 車両のバッテリーを交換したときなどは、登録した目的地や立寄り地、VICSモニター地点は消去されます。
- ナビ研S規格準拠の地図ディスクをご使用の場合、ルートガイドで以下の状況がおきる場合があります。
  - 道路形状が斜め左に曲がってから右にカーブしていく道路では、ルートガイドが「斜め右方向」と案内することがあります。
  - 県道と国道などが交差している道路で県道から国道に進路を変更するなど、異なる路線に進路を変更する場合に路線の接続データにより同一路線と判断して実際とは異なった方向にガイドすることがあります。
  - 交差点拡大図で音声ガイドがされてもガイドポイントが交差点拡大図内に納まらない場合があります。

# こんなことに気をつけて

## 地図ディスクの取り扱いについて

ディスクに付いた汚れ、ゴミ、キズ、そりなどは、誤動作の原因になります。いつまでもお使いいただくために、次のことにご注意ください。

### ●地図ディスクの取り扱い

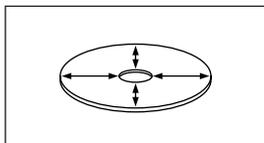


- 記録面に触れないように持ってください。虹色に光っている面が記録面です。
- 記録面やラベル面に紙テープなどを貼らないでください。

### ●地図ディスクの保存

- 直射日光が当たる場所など、高温になる場所や温度の高い場所には置かないでください。
- 特に、夏期の直射日光の当たる場所で窓を閉めた車内は、かなり高温になります。このような車内のダッシュボードやシートの上には、絶対に置かないでください。
- 長時間使用しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに、重ねたり斜めに立てかけて置くと、キズや汚れ、そりの原因になります。

### ●地図ディスクのお手入れ



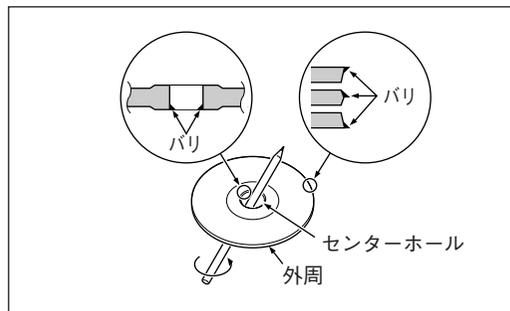
記録面に指紋や汚れが付いたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布で、放射状に軽く拭き取ってください。シンナーなどの有機性のもや、従来のレコードクリーナー、静電防止剤などは使用しないでください。

### ●新しい地図ディスクを使用するときは

新しい地図ディスクを使用する前に、地図ディスクのセンターホールや外周部にバリがないことを確認してください。

バリがある場合は、ボールペンの軸などで取り除いてください。

バリの付いたまま使用すると、ディスクが入らなかったり、地図が表示されないなどの原因になります。

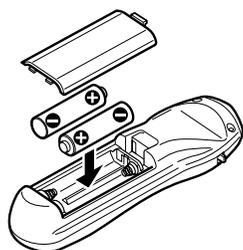


### ●CD用のアクセサリーについて

故障などの原因になりますので、以下のことにご注意ください。

- CD用の市販のアクセサリー（スタビライザーや保護シールなど）は、使用しないでください。これらを使用するとCDの厚さや外形寸法が変わり、結果的に規格外のCDとなってしまいます。
- レンズクリーナーを使用しないでください。
- 円形以外のCDは使用しないでください。

## リモコンの電池交換



リモコンが反応しなくなったときは、新しい電池（単三型2本）を入れてください。



- 電池の向きを正しく入れてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。

# 故障かな!?!と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線の間違いで故障と思われることがあります。  
修理を依頼される前に、次の項目をチェックしてください。

こんなとき ▼	なぜ ▼	こうします ▼
電源が入らない	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認して所定容量のヒューズと交換してください。
リモコンでナビゲーションが動作しない	操作モード切替スイッチがNAV以外に切り替わっている。	操作モード切替スイッチをNAVにしてください。
動作しない	周囲の温度が50度以上になっているため、保護回路が働いている。	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を下げてください。
受信衛星の数が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>● GPSアンテナが正しく接続されていない。</li><li>● GPS衛星の情報が取り込まれていない。</li><li>● テレビチューナー（56ch）の影響を受けている。 56chの2倍の高調波がGPS衛星の受信周波数に近い影響が出る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 取付説明書に従って、正しく接続してください。</li><li>● 取付直後や長時間使用していない場合、衛星情報を取り込むまで、20～30分かかることがあります。</li><li>● 建物等に囲まれている場所では、正常に受信できない場合があります。障害物のない場所に移動してください。</li><li>● テレビチューナーを56ch以外のチャンネルにセットしてください。</li></ul>
現在地を表示しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現在使用している地図ディスクがカバーしているエリアの外である。</li><li>● 地図ディスクに傷や汚れなどが付いている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● エリア内地図ディスクと交換してください。</li><li>● 汚れが付いているときはきれいに拭き取ってください。 傷が付いているときは新しいものと交換してください。</li></ul>
現在地と実際の位置が大きくずれている	ACCを（OFF）にしてから自転車位置を移動した。（フェリーでの移動、駐車場のターンテーブルでの回転、レッカー移動など）	GPS衛星を受信して、しばらく走行してください。
位置表示やスピード表示に誤差がある	<ul style="list-style-type: none"><li>● GPS衛星からの電波の受信状態が悪い。</li><li>● GPSアンテナが配線されていない。</li><li>● 車速信号検出が正しく接続されていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● GPS情報画面などで受信状態を確認してください（21ページ）。</li><li>● 取付説明書に従って、正しく接続してください。</li><li>● 取付説明書に従って、正しく接続してください。</li></ul>
ガイド設定画面（63ページ）の設定で拡大図割込を「する」設定しても交差点拡大図が表示しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● ガイド設定（63ページ）で拡大図表示が「しない」の設定になっている</li><li>● LZ-M700、LZ-770W、Z-700W、LCD-M66、VZ907またはDPV990以外のモニターと接続している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ガイド設定（63ページ）で拡大図表示が「する」の設定にしてください。</li><li>● LZ-M700、LZ-770W、LZ-700W、LCD-M66、VZ907またはDPV990以外のモニターではこの機能は使用できません。</li></ul>

# 付属リモコンによるテレビやオーディオの操作

操作モード切り替えスイッチの位置		AUDIO			
操作対象		オーディオシステム/LCD-M66 (オーディオシステム接続時) / LZ-M700/VZ907			
各モード		TUNERモード	TAPEモード	CD/MDモード	TVモード
ジョイスティック上	BAND▲DISC	FMバンド切り替え	早送り	先のディスクヘサーチ	TV1/TV2/VIDEO切り替え
ジョイスティック下	▼M/S	AMバンド切り替え	巻き戻し	手前のディスクヘサーチ	メイン/サブ音声切り替え
ジョイスティック右	▶▶	チューニングアップ	DPSS先の曲へ	先のトラックヘサーチ	チャンネルアップ
ジョイスティック左	◀◀	チューニングダウン	DPSS手前の曲へ	手前のトラックヘサーチ	チャンネルダウン
実行	▶▶	—	走行方向切り替え	プレイ/ポーズ	シークモード切替(マニュアル/オート/プリセット) (LZ-M700/VZ907/LCD-M66のみ)
縮小 拡大	∧ ∨ VOL	ボリュームアップ/ダウンおよびオーディオ(音質、バランス、フェーダー等)調整			
現在地	ATT	アッテネーターのオン/オフ			
メニュー	SRC	ソース切り替え: TUNER→MD→TAPE→CD(CD1/CD2)→CH1/2→TV→NAVI→ALL OFF			
ルート	DIRECT	ダイレクト選局	ダイレクト選曲	ダイレクト選曲	ダイレクト選局
VICS	MODE	—			画面表示モード(ワイド)切替 (LZ-M700/VZ907のみ)
TV/NAV	TV/NAV	TV(VIDEO)/NAVI映像切り替え(LCD-M66接続時) TV/NAVI/VIDEO1,2映像切替 (LZ-M700/VZ907のみ)			
NAV画面OFF	—	—			
10キー	1~0	プリセットメモリー呼出 ダイレクト選局時:周波数入力	ダイレクト選曲時: 飛び越し曲数を入力	ダイレクト選曲時: トラックディスクNo.を入力	プリセットメモリー呼出 ダイレクト選局時:チャンネルNo.を入力
* (ヘルプ)	—	—			
#	OPEN	電動可倒パネルのオープン/クローズ(オーディオシステムのみ)			

操作モード切り替えスイッチの位置		AUDIO		TV
操作対象		オーディオシステム/LCD-M66 (オーディオシステム接続時)		LZ-770W / LZ-700W LCD-M66 (オーディオシステム未接続時)
各モード		ネームセットモード SBFモード	FM文字多重モード	TVコントロールモード
ジョイスティック上	BAND▲DISC	入力文字選択	文字情報ページ戻し	TV1/TV2切り替え
ジョイスティック下	▼M/S	入力文字選択	文字情報ページ送り	メイン/サブ音声切り替え
ジョイスティック右	▶▶	ネームセットモード: 文字入力カーソルを右へ SBFモード: ファイルネームスクロールアップ	チューニングアップ	チャンネルアップ
ジョイスティック左	◀◀	ネームセットモード: 文字入力カーソルを左へ SBFモード: ファイルネームスクロールダウン	チューニングダウン	チャンネルダウン
実行	▶▶	文字種選択(英大/英小/カタカナ)	スクロールモード切り替え	シークモード切替(マニュアル/オート/プリセット)
縮小 拡大	∧ ∨ VOL	—	—	内蔵SPのボリュームアップ/ダウン (LZ-700Wのみ)
現在地	ATT	—	—	—
メニュー	SRC	—	—	内蔵SPの音声切り替え(LZ-700Wのみ)
ルート	DIRECT	—	—	ダイレクト選局
VICS	MODE	—	FM多重(VICS)画面呼出/終了	画面表示モード(ワイド)切り替え(LZ-700Wのみ)
TV/NAV	TV/NAV	—	TV/NAVI/コントロール画面切り替え	TV/NAVI/VIDEO1,2映像切り替え
NAV画面OFF	—	—	—	—
10キー	1~0	—	情報項目選択	プリセットメモリー呼出 ダイレクト選局時:チャンネルNo.を入力
* (ヘルプ)	—	SBFモード選択	—	—
#	OPEN	—	—	—

# 地図ディスクの地図記号の凡例

付属および別売品の地区詳細版地図ディスクを使用しているときに画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称
—(青)	高速道・都市道・有料道
—(赤)	国道
—(緑)	都道府県道
—(黄)	その他の道
+++	鉄道
....	都道府県界・市区町村界
■(青)	川・湖・海
■(緑)	緑地
■(灰)	駅舎・敷地
⚙	国の機関（官公庁）
⊙	都道府県の機関
⊙	市役所・東京23区役所
○	町村役場・東京以外区役所
⚓	駅
Ⓜ	インターチェンジ
Ⓜ	サービスエリア
Ⓜ	パーキングエリア
P	駐車場
✈	空港・飛行場
⚓	フェリーターミナル
🌳	公園・緑地
🎡	遊園地
🏟	競技場
🎿	スキー場
🏡	ゴルフ場・クラブハウス
🏌	ゴルフ場
⊗	警察署
⊗	消防署

記号	名称
📮	郵便局
🚦	交差点
🎓	学校
👶	幼稚園
🏥	病院
⚡	電力会社・発電所
☎	電話局
🏦	銀行・金融機関
🏪	デパート
🏨	ホテル・宿泊施設
🏢	ビル
🏭	工場
🏮	灯台
⛩	神社
🗿	寺院
⛪	教会
⚰	霊園・墓地
🏰	城跡
🏞	名所・観光地
♨	海水浴場
🛷	アイススケート場
🛥	ヨットハーバー
🏕	キャンプ場
♨	温泉
⚓	山
⚓	港湾
●	その他
👨👩👧👦	ケンウッドサービスセンター

表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。  
また複数の施設を代表して1つのマークで表示されることがあります。

# 保証とアフターサービス (よくお読みください。)

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より1年です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。  
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 修理のために、お買い上げの販売店およびケンウッドサービスセンター、営業所にお持ちになるときは、ディスクを取り出してください。
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

- 技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代**: 修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

## ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	シリアル・パラレル複合型
	8チャンネル
受信周波数	1575.42 MHz (C/Aコード)
受信感度	-130 dBm以下
測位更新時間	約 1秒 / 1回
測位方式	GPS / GPS+ 自律航法 / ハイブリッド

## 電源部・その他

電源電圧	DC14.4 (11~16 V)
接地方式	マイナスアース
消費電流	1.2 A
保存温度範囲	-10 °C ~ 50 °C
ビデオ出力 (75 Ω)	1.0 Vp-p (コンポジット) 0.7 Vp-p (アナログRGB)
オーディオ出力 (10 K Ω)	1.2 Vrms

## 寸法・質量 (重さ)

本体部	外形寸法	210 x 50 x 191 mm
	質量 (重さ)	1.9 Kg
GPSアンテナ部	外形寸法	42 x 13.6 x 50.5 mm
	質量 (重さ)	130 g
リモコン部	外形寸法	47 x 153 x 31.5 mm
	質量 (重さ)	80 g
リモコン受光部	外形寸法	18 x 12.5 x 36.2 mm
	質量 (重さ)	10 g

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

## ソフトウェア使用許諾書

- 本ソフトを株式会社ケンウッドに無断で複写、複製、加工、改変または解析することはできません。
- 本ソフトを有償で第三者に譲渡、レンタル、再使用許諾することはできません。
- 本ソフトを使用、または使用できなかったことによる派生的、付随的、間接的損害については何らの責を負いません。
- 本ソフトを業務用として使用することはできません。
- 本ソフト内容は予告なく変更または改変されることがあります。
- 本ソフトの使用許諾条件は、購入者および使用者、無償で譲り受けた転得者にも適用されます。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
(大阪) 電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)  
(土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。